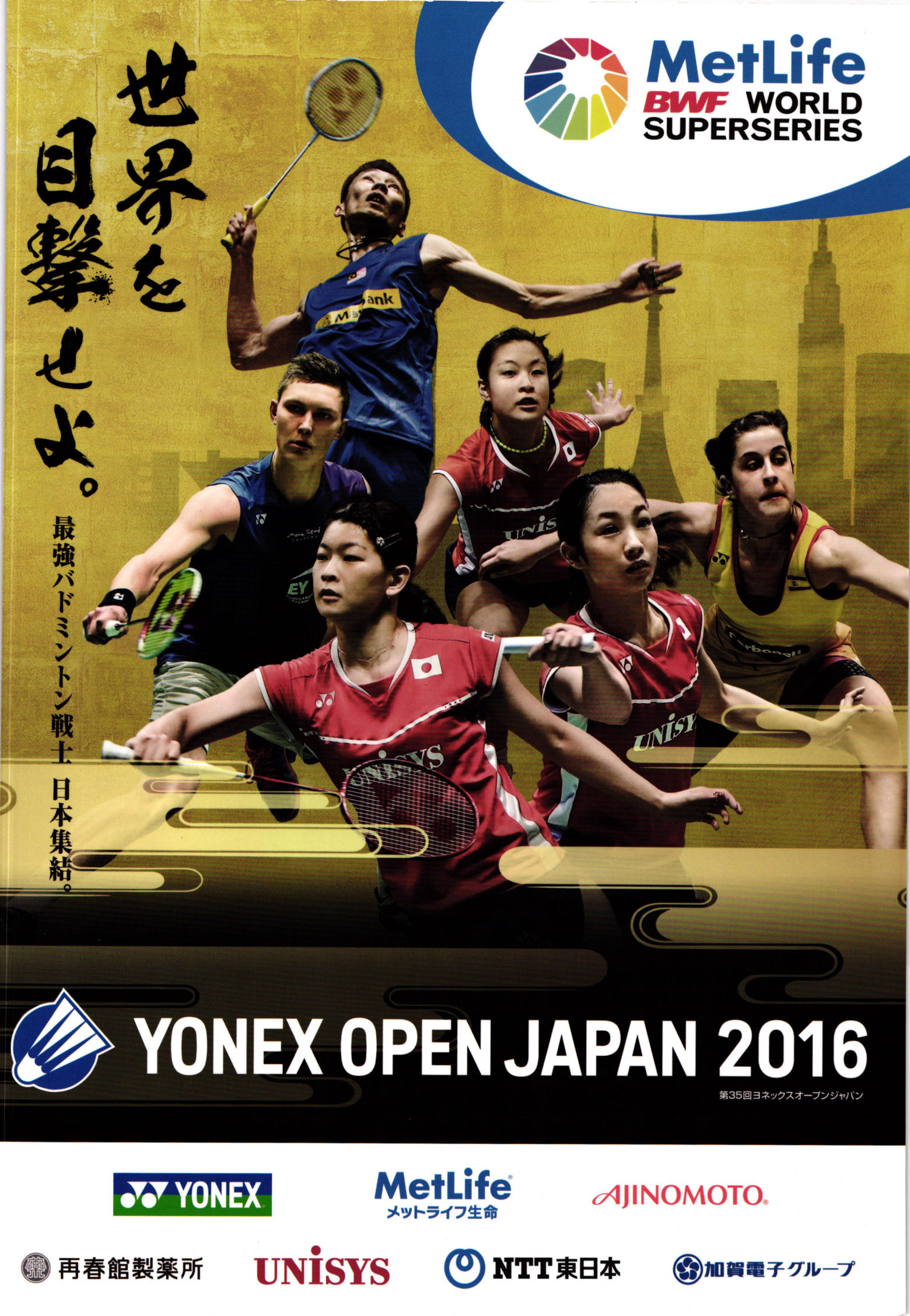
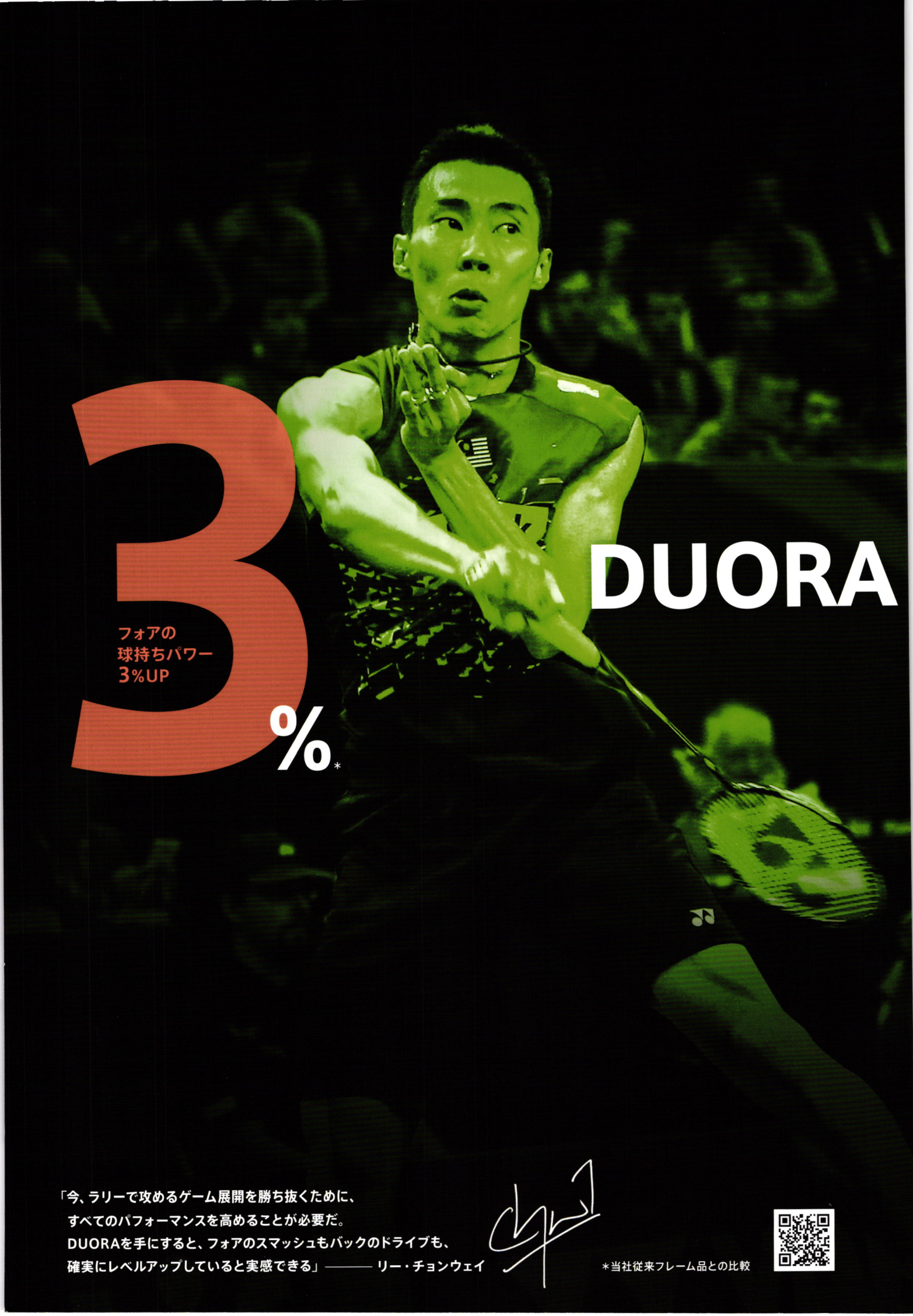

MetLife
BWF WORLD SUPERSERIES
世界を目撃せよ。
最強バドミントン戦士 日本集結。
YONEX OPEN JAPAN 2016
第35回ヨネックスオープンジャパン
YONEX
MetLife
メットライフ生命
AJINOMOTO
再春館製薬所
UNISYS
NTT東日本
加賀電子グループ


3%*
フォアの
球持ちパワー
3%UP
DUORA
「今、ラリーで攻めるゲーム展開を勝ち抜くために、
すべてのパフォーマンスを高めることが必要だ。
DUORAを手にすると、フォアのスマッシュもバックのドライブも、
確実にレベルアップしていると実感できる」——— リー・チョンウェイ
＊当社従来フレーム品との比較


の実力。
9
バックの
弾きスピード
9%UP
%*
Maybank
DUORA10
デュオラ10／¥26,000＋税　日本製　yonex.co.jp　YONEXBadmintonJapan
YONEX

バドミントン・マガジン

Badminton MAGAZINE

競技者必携、国内唯一の専門誌



ヨネックスオープンジャパンのレポートは10月22日(土)発売の11月号に掲載!
お楽しみに!

毎月22日発売／B5判
定価860円(税込)

[年間定期購読のご案内]
送料無料・特別定価の差額サービス!
お得な年間定期購読をぜひご利用ください
※配送の都合上、お届けが発売日より遅れる場合があります。

購読料金 1年間(12冊)▶ 10,320円(税込)
定期購読のお申し込みは
電話で 0120-413490 FAXで 0120-594134
HPから http://www.sportsclick.jp/subscribe.html



総合バドミントン情報サイト

バド×スピ!

BADMINTON SPIRIT

Powered by Badminton

www.badspi.jp バド×スピ! 検索

国内唯一の専門誌『バドミントン・マガジン』が運営する総合バドミントン情報サイト
『バド×スピ!(BADMINTON SPIRIT)では、ヨネックスオープンジャパンの情報を
開催期間中、毎日更新するほか、Twitterでも試合結果をつぶやく予定です!

BASEBALL MAGAZINE SHA
株式会社ベースボール・マガジン社

YONEX OPEN JAPAN 2016

第35回ヨネックスオープンジャパン

◉公式HP
http://www.yonexopenjp.com

SCHEDULE ◉大会日程

9月20日(火)	各種目 予選	9:30 開場／10:00開始
9月21日(水)	各種目 1回戦	9:30 開場／10:00開始
9月22日(木・祝)	各種目 2回戦	9:30 開場／10:00開始
9月23日(金)	各種目 準々決勝	10:00 開場／12:00開始
9月24日(土)	各種目 準決勝	10:00 開場／12:00開始
9月25日(日)	各種目 決勝	10:00 開場／12:00開始

VENUE ◉会場　東京都渋谷区 東京体育館

TV SCHEDULE ◉テレビ放映(予定)

NHK-BS1	9月24日(土)	12:00～	準決勝
	9月25日(日)	12:00～	決勝
J SPORTS1	9月25日(日)	5:00～	準決勝
	9月25日(日)	22:00～	決勝
	9月26日(月)	22:30～	決勝
J SPORTS2	9月21日(水)	16:55～	1回戦 LIVE
	9月22日(木)	16:55～	2回戦 LIVE
	9月23日(金)	11:55～	準々決勝 LIVE

PRIZE ◉賞金

賞金総額　US $300,000

Men's Singles◉男子シングルス
●優勝▶$22,550 ●準優勝▶$11,400 ●3位▶$4,350 ●5位▶$1,800 ●9位▶$1,050

Women's Singles◉女子シングルス
●優勝▶$22,550 ●準優勝▶$11,400 ●3位▶$4,350 ●5位▶$1,800 ●9位▶$1,050

Men's Doubles◉男子ダブルス
●優勝▶$23,700 ●準優勝▶$11,400 ●3位▶$4,200 ●5位▶$2,175 ●9位▶$1,125

Women's Doubles◉女子ダブルス
●優勝▶$23,700 ●準優勝▶$11,400 ●3位▶$4,200 ●5位▶$2,175 ●9位▶$1,125

Mixed Doubles◉混合ダブルス
●優勝▶$23,700 ●準優勝▶$11,400 ●3位　$4,200 ●5位▶$2,175 ●9位▶$1,125

SPONSORSHIP ◉主催

主催　公益財団法人日本バドミントン協会(NBA)
公認　世界バドミントン連盟(BWF)
主管　東京都バドミントン協会
冠協賛　ヨネックス株式会社
Super Series Global Sponsor:MetLife
協賛　味の素株式会社
加賀電子株式会社
株式会社再春館製薬所
サッポロビール株式会社
日本ユニシス株式会社
東日本電信電話株式会社
協力　株式会社エムアイジェイ
株式会社協栄
ダイドードリンコ株式会社
トナミ運輸株式会社
ナガセケンコー株式会社
日本バドミントン専門店会
株式会社ニュー・オータニ
三菱電機株式会社
株式会社ラケットショップフジ
株式会社ベースボール・マガジン社
オフィシャルシャトルコック　ヨネックス「トーナメント」
オフィシャルコート　ヨネックスコート
大会プログラム制作　ベースボール・マガジン社
バドミントン・マガジン編集部

©ベースボール・マガジン社2016
プログラム掲載の記事、写真の無断転載および複写を禁じます



奥原希望

CONTENTS ◉目次

07 ごあいさつ
Messages

12 リオ五輪・特別レポート
Special Report of Rio Olympics
Report1　歴史を変えた、輝くメダル　高橋礼華&松友美佐紀／奥原希望
Report2　リオに響いた熱戦譜。　日本選手&海外選手の活躍

各種目展望
Preview

19 男子シングルス◉新時代への挑戦!
Challenge to the next stage
リー・チョンウェイ／ビクター・アクセルセン／ヤン・ウ・ヨルゲンセン
田厚威／周天成／トミー・スギアルト／スリカンス・K.／伍家朗／上田拓馬

21 女子シングルス◉メダリストの競演
Contest of medalist
奥原希望／キャロリーナ・マリン／P.V.シンドゥー／ラチャノック・インタノン
山口茜／戴資穎／何冰嬌／孫瑜／佐藤冴香

27 男子ダブルス◉疾風迅雷のバトル
Battle of speed and power
セティアワン&アッサン／ゴー&タン／早川&遠藤
洪煒&柴飈／ボー&モゲンセン／園田&嘉村／保木&小林

31 女子ダブルス◉さらなる高みへ!
Aim for higher goals
高橋&松友／リター・ユール&ペダセン／駱贏&駱羽
福万&與猶／松尾&内藤／ムスケン&ピーク

36 混合ダブルス◉コンビ力の証明
Prove your combination
高成炫&金荷娜／ジョーダン&スサント／チャン&ゴー
ニールセン&ペダセン／数野&栗原

39 いざTOKYOへ!~期待の新星~
Promising young generation

43 出場予定選手
List of Competitors

49 大会役員
Officers

50 歴代優勝者
List of Winners



すべてはお客様のために

私たちのあらゆる原動力は、
お客様の声です。
難しいご要望にも真摯に耳を傾け、
ときには言葉にならない声にも耳を澄ませる。
絶えず時代の風を読み、
お客様の声にお応えしてきた足跡こそが、
私たちの歴史です。
「すべてはお客様のために」
どれだけ時代が変わり、
テクノロジーが進化しても
原点にある想いは、
今なお変わることはありません。
私たちは、
エレクトロニクス業界の
発展を支え続けることで、
新しい未来を切り拓きます。

電子部品・半導体ビジネス

世界最高水準の部品を国内外から調達し、専門の技術チームとともにお客様へ提供しています。

EMSビジネス

多品種・小ロットにも対応できるフレキシブルな生産体制を確立。半完成品から完成品まで、お客様に代わってご希望の場所でカタチにします。

情報機器ビジネス

国内外の有名PCや周辺機器の販売から、電気通信工事を含めたシステム構築までのネットワークソリューションのワンストップサービスをお届けします。

ニュービジネス

コンピュータグラフィックス（CG）やゲームソフトの制作、アミューズメント機器やスポーツ用品の販売など、エレクトロニクスから派生した様々なビジネスを展開しています。

加賀電子株式会社

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地　TEL. 03-5657-0111（代）
東京証券取引所1部上場（証券コード：8154）
加賀電子グループ：世界15ヶ国44社（国内17社／海外27社）
http://www.taxan.co.jp

MESSAGES
◉ごあいさつ

ヨネックスオープンジャパン2016に寄せて



世界バドミントン連盟　会長

ポール・エリック・ホイヤー
Poul-Erik Høyer

ヨネックスオープンジャパンが35回目の「誕生日」を迎えることに私は感激しています。1982年に開始したこの大会はカレンダー上で最も重要なイベントのひとつであり続け、常に世界最高の選手を集めています。これは日本バドミントン協会の誇りであり、またBWFとしても誇りに思います。

この数年間の日本の成長は、バドミントン界の中で最も重要な進展のひとつとなっています。すべてのカテゴリーにおいてトップランクに台頭し、そしてジュニア選手も続いて上位に進出しており、今、日本は新しいベンチマークとして位置付けられています。私はいつも日本のことを見習う価値があるお手本と考えています。日本バドミントン協会そしてすべての選手やコーチがこのプロセス、またこの成功の一部であることをたたえたいと思います。

2016年リオオリンピックで日本バドミントン初の金メダルを獲得した高橋礼華／松友美佐紀が発揮した素晴らしいパフォーマンスは、才能にあふれるこの国のためにこれ以上にないタイミングで起こったことだったのでしょう。女子シングルス銅メダリストの奥原希望もまた、若い世代にバドミントンラケットを握らせ、この偉大なスポーツを始めさせるためのきっかけのひとつとなります。

ヨネックスオープンジャパンはバドミントンに若者を引き付け、そして常に携わらせる上で重要な役割を果たしてきました。その主催者やスポンサー、特にヨネックスに感謝いたします。昨年の大会でヨネックスの創設者である米山稔氏にプレジデントメダルを贈呈させていただきました。私たちのスポーツに大きく貢献していただいた米山氏に、あらためて私の感謝の気持ちを伝えたいです。

リオオリンピックは閉会しましたが、私たちにはまだたくさんの楽しみな大会が残されています。ドバイワールドスーパーシリーズファイナルはランキングトップ8の選手とペアが招待されます。すべての参加者はそのことを承知しており、ドバイでの自分の席を確保するためにヨネックスオープンジャパンはもちろんのこと、残りのMetLife BWFワールドスーパーシリーズにおいて最大のパフォーマンスを発揮することでしょう。

選手の皆さまがこの日本の大会で成功されることをお祈り申し上げます。

I am thrilled that it is the 35th 'birthday' of the YONEX OPEN JAPAN2016. It's surely a matter of pride for Nippon Badminton Association, and indeed for BWF, that the tournament which started in 1982 continues to be one of the most important events on the calendar and attracts the best players in the world.

Japan's rise in badminton over the last few years has been one of the most significant developments in our sport. Boasting top players in all categories, and several juniors coming up the ranks, Japan is well placed now to set new benchmarks. I have always noted Japan as a model worth emulating. Congratulations to Nippon Badminton Association and all players and coaches for being part of this process – and accomplishment.

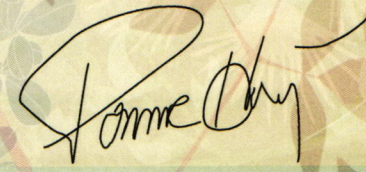
The glorious performance by Misaki Matsutomo Ayaka Takahashi in winning Japan's first-ever Olympic badminton gold medal at the Rio 2016 Olympic Games could not have happened at a better time for this country which is bursting with talent. Nozomi Okuhara's Olympic bronze in Women's Singles will also be part of the new narrative that inspires young Japanese to grab a badminton racket and start playing our great sport.

The YONEX OPEN JAPAN2016 has played a key role in attracting youngsters to the sport and keeping the public engaged and I thank the organisers and sponsors, particularly Yonex. I had the privilege of presenting the President's Medal to the founder of Yonex, Mr Minoru Yoneyama, at last year's tournament. I would like to once again convey my appreciation of how much Mr Yoneyama has contributed to our sport.

The Olympics is behind us but there is plenty of action left this year. The Dubai World Superseries Finals beckons the top eight players and pairs, and all participants will be aware that a strong performance in Japan and the remaining MetLife BWF World Superseries events will ensure their presence in Dubai.

Best wishes to all players for a successful outing in Japan.

Poul-Erik Høyer
BWF President



MESSAGES

◉ごあいさつ



公益財団法人
日本バドミントン協会
会長

綿貫 民輔

第35回ヨネックスオープンジャパン2016　MetLife　ＢＷＦワールドスーパーシリーズが東京体育館で盛大に開催できることは、本会関係者すべての大きな喜びとするところです。

8月に行なわれたリオデジャネイロオリンピックでは、女子ダブルスの高橋礼華／松友美佐紀組が待望の金メダルを劇的な勝利によって獲得、女子シングルスではこの種目日本人で初めてとなるメダルを奥原希望選手が獲得し、日本中が歓喜の渦に包まれました。またメダルには届かなかったものの、日本を代表してこのオリンピックに出場した男子シングルスの佐々木翔選手、女子シングルスの山口茜選手、男子ダブルスの早川賢一／遠藤大由組、混合ダブルスの数野健太／栗原文音組の全員が努力する姿は日本の多くの人を感動させ、勇気と希望を与えてくれました。本当にありがとうございました。

オリンピック以外の国際大会に目を向けても、多数の日本人選手が好成績を残し、いよいよ4年後に迫ったオリンピック東京大会でのさらなる大活躍が期待されます。本大会は2020年東京オリンピックへのスタートをきる大会ともなり、昨年同様、日本選手たちが大いにこの大会を盛り上げていただけるものと考えています。そして、東京オリンピックで輝く日本選手たちの息吹を感じることができるでしょう。

多くの世界のトッププレーヤーがこの大会に参加していただくことはとてもありがたく思い、感謝いたします。この大会で競い合うことでお互いに技術向上を図っていただければうれしく思います。そして、この大会に集う選手も含め、多くの方々の間で交流が図られれば開催する側にとってこの上ない喜びです。観客の皆さまにとっても、世界各国からトッププレーヤーが集まるこの大会は世界最高のバドミントン技術を学ぶ絶好のチャンスです。バドミントンの愛好者はぜひ、この大会を観戦することによってご自身のレベルアップを図り、日本のバドミントン界全体のレベルアップにつなげていただければと存じます。

終わりに、本大会開催にあたりまして多大なご支援、ご尽力をいただきました、ＢＷＦ、東京都の関係各位、協力企業関係者各位に衷心から感謝申し上げましてご挨拶といたします。

The fact that the 35th YONEX OPEN JAPAN 2016, Part of the MetLife BWF World Superseries is being held here on such a grand scale, at the Tokyo Metropolitan Gymnasium, is a great joy to everyone involved in the tournament.

At the Olympic Games in Rio de Janeiro, held in August, Ayaka Takahashi and Misaki Matsutomo took the coveted gold medal in a dramatic victory in the women's doubles, and Nozomi Okuhara became the first Japanese player to win a medal in the women's singles, delighting the whole of Japan. Furthermore, the efforts of those other members of the Japan Olympic team who missed out on a medal at the Games, such as Sho Sasaki in the men's singles, Akane Yamaguchi in the women's singles, Kenichi Hayakawa and Hiroyuki Endo in the men's doubles, and Kenta Kazuno and Ayane Kurihara in the mixed doubles, moved many people in Japan and gave them courage and hope. Thank you so much.

Even when you look at international tournaments other than the Olympics, many Japanese players have produced great results and there are high expectations that they will produce great performances at the Tokyo Olympic Games, just four years away. This tournament marks the start of the lead-up to the 2020 Tokyo Olympic Games, and I hope that, just as they did last year, Japanese players will help enliven the event. We will surely get an indication of the Japanese players who are going to shine at the Tokyo Olympics.

I am truly grateful that we have so many of the world's top players taking part in this tournament. I would be delighted if, through competing in this tournament, you will all be able to further improve your skills and techniques. It would also give us, the organizers, enormous pleasure if the many people, including the players, gathered together at this tournament could make this an opportunity for interaction with one another and building relationships. This tournament, which has attracted the top players from around the world, is also a wonderful chance for the spectators to witness the world's very best badminton skills. Badminton lovers will surely be able to improve their own skills by watching this tournament, and it is my hope that this will lead to raising the skill level of Japanese badminton as a whole.

Finally, I would like to thank from the bottom of my heart BWF, Tokyo officials and the personnel of cooperating companies, for their support and cooperation in organizing this tournament.

Tamisuke WATANUKI
President, Nippon Badminton Association (NBA)

綿貫民輔



東京都バドミントン協会
会長

千葉 健夫

第35回ヨネックスオープンジャパン2016が、ここ東京体育館で盛大に開催されますことは大変喜ばしく、心より歓迎申し上げます。

昨年の大会では、女子シングルスにおいて日本人同士の優勝決定戦が行なわれ、奥原希望選手が見事優勝、山口茜選手も準優勝という結果を残しファンを大いに楽しませてくれました。

今年の大会におきましても、世界のトッププレーヤーが集結する中で、日本選手の熱い戦いが展開されることを期待しております。

さて、今年の話題は何といっても、リオデジャネイロオリンピックで日本バドミントン史上初の金メダル獲得を果たした女子ダブルス、高橋礼華／松友美佐紀ペアの快挙、また女子シングルスで初のメダルとなる奥原希望選手の銅メダル獲得です。また、熱戦を繰り広げ、私たちファンを大いに楽しませてくれた他の日本選手の活躍は、鮮明な記憶として脳裏に焼き付いております。

この成果は、選手の努力はいうまでもなく、選手を支える関係者・組織・団体、そしてファンの皆さまの応援があってのものと感謝申し上げる次第です。

ところで、４年後の2020年には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックをめざすジュニアプレーヤーの皆さんには、リオデジャネイロオリンピックの様々な競技が与えてくれた感激や感銘、ヨネックスオープンジャパン2016で展開される熱戦の中からいろいろと学び、それらを糧に2020年のオリンピックに向かって努力してくれることを真に願っております。

バドミントンは、パラプレーヤーを含めジュニアからシニアまで幅広い年齢層で楽しむことができる競技です。今後、ソフト面・ハード面での環境整備や運営体制などの確立を推進し、バドミントンを愛好する皆さまと共に2020東京オリンピック・パラリンピックを成功させるための気運醸成とバドミントン競技のさらなる普及発展に努めてまいりたいと思います。

終わりに、大会の準備運営に携わっていただきました関係者の皆さま、またご支援ご協力をいただきました関係各位に心より感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

I am very pleased that the 35th YONEX OPEN JAPAN 2016 is being held here, at the Tokyo Metropolitan Gymnasium, and I would like to welcome you all from the bottom of my heart.

In last year's tournament, it was two Japanese players who fought in the women's singles final. In the end, Nozomi Okuhara won a stunning victory, and Akane Yamaguchi was the runner-up, and they delighted the fans with their performance.

In this year's tournament, too, I look forward to seeing Japanese players do battle with the top players from around the world who are gathered here.

The main stories this year are, of course, from the badminton at the Olympic Games in Rio de Janeiro: Ayaka Takahashi and Misaki Matsutomo's outstanding achievement of winning Japan's first ever gold medal in the women's doubles, and Nozomi Okuhara winning the bronze – Japan's first ever medal in the women's singles. In addition, the strong showing by the other Japanese players, who put on exciting matches that were so entertaining to us fans, remain vividly imprinted in my memory.

It goes without saying that these great achievements are the result of the tireless effort put in by the athletes, but they are also thanks to the related personnel, organizations and groups that support the players, as well as the loyal fans who have supported the players, and for this I am truly grateful.

In four years from now, the Olympic and Paralympic Games 2020 will be held here in Tokyo. It is my sincere hope that the junior players who aspire to the Olympics will learn something from the excitement and emotion of the various events at the Rio de Janeiro Olympics and from the exciting battles that play out during the YONEX OPEN JAPAN 2016 tournament, and use it to motivate them as they strive to become the Olympians of 2020 Games.

Badminton is a sport that can be enjoyed by a wide range of age groups, from junior to senior, including para-players. Going forward, I would like to promote improvement of the environment on both the tangible and intangible side and the establishment of a management system, and, together with badminton lovers, create a groundswell of sentiment in order for the 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games to be a success and further promote badminton as a sport.

Finally, I would like express my sincerest gratitude to everybody who has been involved in preparing for holding of this tournament, and to all related parties for your support and cooperation.

Tateo CHIBA
President, Tokyo Metropolitan Badminton Association (NBA)

千葉健夫

ヨネックスオープンジャパン2016に寄せて



ヨネックス株式会社
代表取締役社長
林田 草樹

35回目の開催となるヨネックスオープンジャパンを、今年もまた盛大に開催できますこと、冠スポンサーとして非常に光栄に思います。8月のリオデジャネイロオリンピックにおいて熱戦を繰り広げた選手らが、再び世界王座をかけ、舞台を東京に移して戦う大会となります。本大会は、当時低迷していた日本のバドミントンの競技力強化と普及発展を願い、日本バドミントン協会と共に 1982年に兵庫県西宮市・神戸市で開催したのが始まりです。近年では、長年の強化育成と普及活動が実り、日本選手が決勝戦で王座を争うまでになりました。

世界のバドミントン界では、トップレベルで活躍する選手の国籍の広がりが見られ、競技全体が活況を呈しております。本大会も、世界各国から集まったトップ選手が、日々の鍛錬の中で培った技術を競い合い、最高峰の熾烈な戦いを繰り広げてくれることと期待がふくらみます。また、今回も出場選手の素晴らしいプレーの数々が、子どもたちに夢、希望、憧れ、そして感動を与え、バドミントン競技をさらに強化・発展させてくれるものと信じております。

弊社は、「スポーツごころを世界に」をスローガンに、今後も世界各国の大会協賛を通じ、微力ながら競技の普及発展に貢献すべく活動いたします。そして、こうした活動を続け、皆さまに愛されるブランドをめざすとともに、バドミントンの魅力、素晴らしさを世界中の皆さまにお伝えできますよう、努力して参りたいと存じます。

結びとなりますが、大会開催に際しご尽力を賜りました国際バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会並びに関係各位、ご協賛の各社に心から敬意を表し、大会の成功と選手の皆さまのご健闘を祈念いたしまして、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

It is once again Yonex's great privilege to act as the title sponsor for the 35th assembly of YONEX OPEN JAPAN. Many competitors have the heated and emotional matches from this year's Rio de Janeiro Olympic Games behind them, and will once again vie for another major title in the Japanese capital.

This tournament got its humble start in 1982 in Hyogo prefecture. The impetus behind its creation came about in the interest of boosting Japan's competitive badminton level to match the global standard at the time. Years later, these efforts have bore fruit, with Japanese athletes proving to be some of the most skilled competitors on the worldwide stage.

Recent years have seen increased diversity in the world's top badminton players, with competitors hailing from a great many nations. This is most certainly indicative of badminton's increased global popularity and expanded worldwide appeal. This very tournament sees participants from across the globe who have been honing their skills day in and day out. There is no doubt that the fruits of their hard work will manifest as incredible top-class battles on the court.

Furthermore, there is no doubt that the exceptional performances of these players will inspire dreams, hopes and aspirations in the hearts of the children in the audience. The positive energy of these young badminton enthusiasts will surely connect to the further expansion and development of the sport.

Based on our company slogan of "Yonex's citizenship is global," it is our desire to contribute to the global expansion of badminton by sponsoring tournaments around the world. By devoting our efforts towards these various undertakings, Yonex aims to strengthen its global profile and communicate the joy of badminton effectively to the people of the world.

In conclusion, I would like to extend my thanks to the Badminton World Federation, the Nippon Badminton Association, the Tokyo Metropolitan Badminton Association, and all the individuals who have been working tirelessly to help stage this event. Finally, I wish all the players much success in what I am sure will be a wonderful tournament.

Kusaki HAYASHIDA
President, YONEX Co., Ltd.

林田草樹



東京都知事
小池 百合子

ヨネックスオープンジャパン2016 BWFワールドスーパーシリーズが、東京において盛大に開催されますことを、お慶び申し上げます。また、都民を代表して、海外および国内各地から参加された選手並びに役員の皆さまを心から歓迎いたします。

本大会は、バドミントンの世界トップレベルの選手たちが競い合う、伝統ある国際大会であると伺っております。選手の皆さまには、ハイレベルな技と、闘志溢れるプレーにより私たちにスポーツの素晴らしさや感動を伝えていただけることを期待しています。また、本大会が、バドミントン競技の普及・発展につながるとともに、大会を通じて、国を越えた友好や絆をさらに深めていただければ幸いです。

本年８月に開催されたリオデジャネイロ2016オリンピック競技大会では、日本代表選手の素晴らしい活躍に大変感動しました。４年後に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックは、新しい東京をつくる一つの試金石になると考え、そして出場するアスリートのみならず、私たち一人ひとりが自ら主役となって世界の人々をおもてなしすることが大切です。皆さまと一丸となって大会を成功へ導いていきたいと思いますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催にご尽力された関係者の皆さまに深く敬意を表するとともに、選手の皆さまのご健闘と本大会のご成功を祈念して挨拶といたします。

It gives me great pleasure to have the YONEX OPEN JAPAN2016 - MetLife BWF World Superseries held in Tokyo. On behalf of the people of Tokyo, I would like to extend a heartfelt welcome to all of the athletes and officials who have gathered here from Japan and around the world.

It is my understanding that world-class badminton athletes will compete against each other in this prestigious international tournament. I am certain that the high level of skill and fierce, competitive performances displayed by the athletes will convey the excitement and wonder of sports, and inspire us all. I hope that this event will lead to greater popularization of the sport of badminton, while further strengthening friendships and ties that transcend national borders.

During the Rio 2016 Olympic Games held in August, we were thrilled by the spectacular performances of Japanese athletes. In four years, Tokyo will be hosting the Olympic and Paralympic Games. It is not only the athletes who will take center stage in the Games. It is essential for all of us to be aware that the Games will be a critical test for Tokyo's transformation and that everyone has a vital role to play in warmly welcoming visitors from all over the world. I hope to rally the strengths of our citizens to make the Tokyo 2020 Games a success. Your continued support and cooperation will be most highly appreciated.

In closing, I would like to express my deep respect and gratitude to everyone who has worked so hard to make this tournament possible. I wish the athletes and the event every success.

Yuriko KOIKE
Governor of Tokyo

小池百合子



「保険を『サイエンス』する」コンテンツ、出来ました。

約150年にわたる歴史、強固な財務基盤、そしてお客さまの声を継続的にサービス改善に活かす「カスタマー・セントリシティ」、メットライフ生命の「サイエンス」をMetLife Onlineで紹介しています。



「歴史篇」

メットライフが誕生した1868年。日本では明治元年にあたり、その時はちょうど「明治維新」の真っただ中。「日本を今一度せんたくいたし申候」と、坂本龍馬がこう手紙を書いたその頃、メットライフ生命の歴史も始まりました。

※**「リスクマネジメント篇」「お客さまの声篇」**も随時公開。

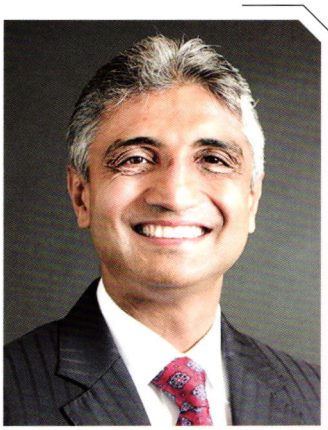
MetLife®
メットライフ生命

「MetLife Online」
より健やかで実り多い人生を送るために、生命保険や医療の最新情報など様々な切り口で情報を発信しているメットライフ生命公式サイト内の情報発信ページです。

MetLife Online http://www.metlife.co.jp/online/
YouTube https://www.youtube.com/user/metlifejapan
※FacebookやTwitterでも役に立つ情報を発信しております。

MESSAGES
◉ごあいさつ

ヨネックスオープンジャパン2016に寄せて



メットライフ生命保険株式会社
代表執行役　会長　社長
最高経営責任者（CEO）
サシン・N・シャー
Sachin N. Shah

MetLife
メットライフ生命

メットライフ生命保険株式会社は、「メットライフ BWFワールドスーパーシリーズ」の一環として開催される「ヨネックスオープンジャパン2016」に、グローバルスポンサーとして3度目の協賛をさせていただくことになりました。今年35回目を迎え伝統と権威を誇る大会の開催にあたり、弊社を代表して、この場をお借りし、選手、大会関係者ならびに来場者の皆さまへお礼とお祝いを申し上げます。

バドミントンは1870年代に英国で発祥したといわれています。それに先立つ1868年（明治元年）にメットライフは創立されました。それ以来、バドミントンとメットライフは、方法の違いこそあれ、人々に健康と心の豊かさ～ヘルス＆ウェルネス～、満ち足りて豊かなライフスタイルを提供してきました。

「メットライフ BWFワールドスーパーシリーズ」への協賛は、人々がヘルス＆ウェルネスを享受するのを助けるという点で、メットライフとバドミントンの深いつながりを表しています。バドミントンを楽しむことは、健康的な身体と心を維持するためのすばらしい方法です。また、バドミントンの試合は早いペースで刺激的にプレーヤーが動き続け、チームワークや仲間との友情を育むことで、心と気持ちを高めます。

同様に、メットライフも、お客さまの身体と心の健康につながるような商品とサービスを提供することによって、ヘルス＆ウェルネスをサポートしています。私たちはお客さまの多様で変化するニーズに対する革新的なソリューションを提供するために、世界で約1億人のお客さまと、日本における約850万件のご契約とともに、ビッグデータを活用しています。

当社のお客さまを中心とした戦略の実行にあたっては、投資業務を含むすべての活動でサイエンスアプローチをとっています。我々の約150年にわたる保険のサイエンスにまつわる経験を活かすことで、メットライフは、世界トップクラスのリスクマネジメントと財務基盤の安定性を持つという評判を得ることができました。日本においては、国際的な格付け会社であるスタンダード＆プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社から、保険財務力格付けで「AA-」の評価を得ています。今後も財務の安定性とお客さまの声を聴きニーズに応えることで、お客さまから最も選ばれる生命保険会社になることをめざしてまいります。

最後になりますが、すべての皆さまが「ヨネックスオープンジャパン2016」を、安全に楽しまれることを願っております。本大会に参加されている世界トップクラスの選手の皆さま、Gambarimashou! (がんばりましょう！)

MetLife Insurance KK will, for the third consecutive year, be the global sponsor of the 35th "YONEX OPEN JAPAN 2016", part of the "MetLife BWF World Super Series". On behalf of MetLife Insurance KK, I would like to congratulate and thank the competitors, the officials, and all of the fans in attendance.

It is believed that badminton originated in Britain in the 1870's. MetLife was founded just before this, in 1868, the first year of the Meiji Era. Since that time, both badminton and MetLife have offered people health, wellness and a fuller, richer lifestyle, though in slightly different ways.

Our sponsorship of the MetLife BWF World Super Series highlights how MetLife and badminton dovetail in helping people achieve health and wellness. Playing badminton is an excellent way to maintain a healthy body and a healthy mind. Fast-paced and exhilarating, badminton is a game that keeps the players moving, and by encouraging teamwork and camaraderie with one's partner, it keeps the heart and mind active as well.

Likewise, MetLife focuses on customers' health & wellness by offering products and services to help them take better care of their bodies and minds. With approximately 100 million customers worldwide and over 8.5 million policies in force in Japan alone, we use big data science to develop innovative solutions that meet our customers' diverse and changing needs.

The implementation of our customer centricity strategy reflects the scientific approach we take to everything we do, including investments. By leveraging our close to 150 years of experience with the science of insurance, MetLife has built a reputation for world-class risk management and financial stability. In Japan we maintain a high rating of AA- from international ratings agency S&P. We are proud to continue to build on our reputation of stability and to work toward becoming the customer's number one choice life insurance company in Japan.

On behalf of MetLife Japan, I wish all of you a fun and safe " YONEX OPEN JAPAN 2016" badminton tournament. To the world-class athletes participating in this year's tournament: Gambarimashou!

Sachin N. Shah
Representative Statutory Executive Officer
Chairman, President and Chief Executive Officer
MetLife Japan

Special report of Rio Olympics-1

歴史を変えた、輝くメダル

文／矢内由美子　写真／GettyImages

リオデジャネイロ五輪は、日本バドミントン界が金字塔を打ち立てた大会となった。女子ダブルス世界ランク1位の「タカマツ」こと、高橋礼華／松友美佐紀が全種目を通じて初となる金メダルを獲得し、女子シングルスでは、奥原希望が男女シングルスを通じて初の表彰台となる銅メダルを手にした。

2004年アテネ五輪での惨敗をきっかけに大改革を敢行してから12年。この間、着実な成長曲線を描いてきた日本バドミントン界は、20年東京五輪に向けて、さらに大きく飛躍するための足掛かりをつくった。

世界ランク1位の重圧を乗り越えて

「白はオリンピックでしか着られない色。次は決勝でこれを着るつもりです」

タカマツは、リオ五輪限定で用意された白のユニフォームを予選リーグ3試合目で初めて着用し、世界ランク11位のオランダペアを下してグループ首位で決勝トーナメント進出を決めた。第1戦はオレンジ、2戦目は青、そして第3戦では限定の白。その後もこの順番でローテーションすると「決勝は白なんです」と、大一番を彩るプランを明かしてくれた。

日本とは12時間の時差があるリオ五輪では、バドミントンのトップシード選手たちの試合は異例ともいえる早朝に組まれていた。中国や東南アジアの国々のゴールデンタイムに相当する時間である。

これにより、タカマツは夜9時半就寝、早朝5時半起床という生活リズムで調整してきた。そして、「こういう時間の試合はあまり経験していないのでつらいですね」とこぼしながらも、徐々に調子が上向いていることを感じさせる動きをコートでは見せていた。

そんな中、高橋がやや気にしていたのはコート上を舞う横風だった。「慣れてはきたけど、上から打つときにタイミングがズレると、当たり損ねて遅い球になってしまう」と決勝トーナメントに向けての注意点をあげ、ラリーの組み立ても「攻めすぎのところもあるので、もう少しドロップを入れてよいのかなと思ってます」と、メダルをより確実なものにするために、細かな修正にとりかかる。

松友も「徐々に試合勘はよくなっているので、そこは切らさずにいきたい」と“残り3試合”をしっかり見据えていた。

準々決勝ではマレーシアペアに第2ゲームを奪われたものの、ファイナルゲームを21－9と圧倒してベスト4に進出。準決勝では、直近の試合で2連敗していた鄭景銀（ジョンキュンゴン）／申昇瓚（シンソンチャン）（韓国）と対戦した。序盤はリードを許したが、逆転してからは自信にあふれたプレーでポイントを奪い、決勝進出を果たす。一時期は世界ランク1位の重圧に苦しめられた2人。しかし、勝利を重ねるごとにプレッシャーは“楽しみ”へと変わった。伸び伸びとプレーする2人には、最高の舞台でライバルと戦える喜びの方が上だった。

鮮やかな逆転劇でつかんだ歓喜の涙

長身のデンマークペア、カミラ・リター・ユール／クリスティナ・ペダセンとの決勝戦。2人は予定通り、緑のコートに映える白のユニフォームで臨んだ。

第1ゲームは、相手に先行された後に追いつくも、終盤に競り負けて18－21で落としてしまう。ミスもあり、流れをつかめなかった。しかし、続く第2ゲーム、タカマツがポイントを先行させると、そのまま主導権を握って21－9で取り返し、ゲームカウントを1－1のイーブンに戻してみせた。

こうして迎えた運命のファイナルゲーム。金メダルを懸けた最後の争いは、序盤から一進一退の攻防となった。つばぜり合いにも似た展開は終盤まで繰り広げられ、スコアは16－16。ここで先に仕掛けてきたのがデンマークペアだった。日本はレシーブで引いてしまい、一気に3ポイントを失って16－19。タカマツ、大ピンチ。

しかし、世界ランク1位のペアは、ここからが素晴らしかった。第1ゲームの不調から見違えるように、本来の冷静さを取り戻した松友が、果敢なアタックで連続3ポイントを奪う。高橋のショートサービスも光り、19－19としてからは追い詰められた相手が連続ミス。タカマツは5連続ポイントで大逆転勝利を収め、金メダルを獲得した。気づけば2人の傍らでは、朴柱奉（パクジュボン）ヘッドコーチと中島慶コーチが顔をくしゃくしゃにして喜びを分かち合っていた。

4年間の思いが詰まった表彰式。2人の頬に涙が流れた。高橋は「まさか五輪で君が代が流れる日が来るとは思わなかった。金メダルはすごく重い」と感無量





GOLD MEDAL

髙橋礼華&松友美佐紀

Ayaka TAKAHASHI & Misaki MATSUTOMO

「まさか五輪で君が代が流れるとは思わなかった」

の面持ちとなり、松友は「一番高いところが目標だったけど、最後まで勝ち続けられるとは思っていなかった。諦めないで頑張ってよかった」と喜びを噛みしめる。日本バドミントン界の“夢”を確かな形とした、歴史的な瞬間だった。

女子ダブルスは、08年北京五輪５位入賞の「オグシオ」こと小椋久美子／潮田玲子がバドミントン人気に火を点け、「スエマエ」こと末綱聡子／前田美順が同大会で４位の活躍。12年ロンドン五輪では「フジカキ」こと藤井瑞希／垣岩令佳が、悲願の銀メダルを獲得した。

ロンドン五輪のころ、国内４番手だったタカマツは、先輩ペアたちの奮闘を見ながらコツコツと練習を繰り返したという。結成から８年目の14年に世界ランク１位まで上り詰め、それから２年――。結成10年で迎えたリオ五輪では、世界の頂点に立った。

不安と試練の先につかんだ銅メダル

女子ダブルスと同様に、奥原の銅メダルも快挙だった。奥原は昨年のヨネックスオープンジャパンでスーパーシリーズ初優勝したのを皮切りに、世界ランク上位８人で争われるスーパーシリーズファイナルも優勝。一気にトップ争いに名乗りを上げると、今年３月の全英選手権でもライバルに連勝して初制覇を遂げる。世界ランクは３位に浮上するなど絶好調をキープしていた。

ところが、全英以降は古傷の右ヒザに痛みが出始め、一転して調子が下降。不安要素を抱えてのリオ五輪だったが、苦境に屈しないタフな精神力を持つ奥原は、本番直前にはきっちりコンディションを仕上げてコートに立った。

「フィジカル勝負では絶対に負けないという自信がある。やることはすべてやってきた。だから恐怖心はありません」

予選リーグでは２試合とも圧勝。決勝トーナメント初戦でも、韓国の裵延姝（ペ・ヨンジュ）を32分で退けた。ここまですべて２－０のストレート勝ち。奥原の自信に満ち溢れたプレーが際立った。

ところがこの後が試練だった。準々決勝で対戦したのは山口茜。選手村でも同部屋という無情の日本人対決だ。結果は11－21、21－17、21－10で奥原の逆転勝利となったが、試合後の表情にはいつもの弾けるような笑顔はなかった。

奥原が国際大会で山口にゲームを奪われたのは、６度目の対戦で初めて。「茜ちゃんがすごく強くて、私も力を出しきろうという気持ちになった。お互いの力を出しきれたよい試合になった」と年下のライバルを称え、感謝した。

山口との対戦を乗り越えて進んだ準決勝では、積み重なっていた疲労の影響が出てしまった。長身179㎝のP.V.シンドゥー（インド）に角度のあるスマッシュで攻め込まれ、19－21、10－21とストレートで屈した。

奥原の銅メダルが確定したのは３位決定戦の相手である李雪芮（リ・シュエルイ）（中国）が左ヒザ前十字靱帯損傷で棄権し、不戦勝が決まったとき。「もう１試合、自分らしい試合をしてメダルを手にしたかった」というのは、彼女らしい素直な気持ちだ。しかし、リオで銅メダルを獲得したことは、必ず４年後に生きてくるはず。東京五輪までの４年間が、ますます楽しみだ。



講龍、アクセルセンら若い力が結果を出すなか、チョンウェイは3大会連続でメダルを獲得。男子シングルスでは初の快挙だ

Special report of Rio Olympics–2

リオに響いた熱戦譜。

文／矢内由美子　写真／GettyImages



アスリートの夢舞台で光る活躍を見せたのは、タカマツ、奥原だけではない。日本選手団の戦いぶりは全種目を通じて見応えのある内容と結果だった。

日本選手最年少19歳の山口茜は、女子シングルスで５位入賞を飾った。予選リーグ初戦では、チェコ選手に第１ゲームを奪われ一瞬ヒヤリとする展開となったが、その後は落ち着いてさばいて逆転勝利。硬さのほぐれた第２戦もマレーシア選手をストレートで完封した。

決勝トーナメント１回戦では、元世界女王で世界ランク４位のラチャノック・インタノン（タイ）と対戦したが、コートに入ると序盤からパワー全開。積極的に仕掛けてインタノンに攻め込むと、19本、16本のストレートで破ってみせた。

こうして迎えたのが準々決勝での奥原希望との勝負だった。「もっと上のラウンドで当たりたかった」と２人が口をそろえたこの試合で、山口は気を吐いた。国際大会６度目の対戦で奥原から初めてゲームを奪ったのだ。

結果は逆転負けだったが「全力で戦えたので悔いはない。笑って終わることは難しかったけど、この経験を生かしてもっと強くなりたい」と前を見据えた。

強きJAPANがリオで躍動

男子シングルスでは、ロンドン五輪８強のベテランの佐々木翔が奮闘した。五輪レースで思うような成績を残せず、引退も覚悟していた中、運命の巡り合わせで出番を得たリオの舞台。苦しみながらも全力で戦った。予選リーグ初戦、チェコ選手をファイナルゲームで下し、その翌日に行なわれた第２戦。「初戦が思った以上に緊張していて、疲れが出た」という佐々木は、ラジブ・オーセフ（イギリス）の前に屈し、予選敗退が決まった。「ロンドンの後、よくここまで頑張ってこられたと思う」

最後まで自分らしさを出そうとする姿は、見ている者の胸を打った。

男子ダブルスの早川賢一／遠藤大由は“死のグループ”を突破し、高い実力を示した。初戦で世界ランク５位の洪煒（ホンウェイ）／紫飈（チャイビャオ）（中国）を破ると、第２戦では昨年の世界王者であるヘンドラ・セティアワン／モハマド・アッサン（インドネシア）と対戦。過去９戦全敗の相手に激闘を演じ、ファイナル勝負の末に大金星をつかんだ。リーグ戦１試合を残して予選突破を決めた日本ペアには、メダルへの追い風が確かに吹いていた。

ところがこの殊勲の勝利をつかんだ翌日、早川がギックリ腰を発症。必死の治療で３戦目に出場して準々決勝に駒を進めたものの、メダルのかかった戦いではイギリスペアにストレートで敗れた。

「ギックリ腰になったときは準々決勝のコートに立てると思わなかった。スタッフに感謝している。でも今は悔しい気持ちが強い」（早川）

「リオに来られなかった担当コーチにメダルを持ち帰れないのが悔しい」（遠藤）

試合後、唇を噛みしめた２人。突然のアクシデントとはいえ、メダルを逃した無念さがこみ上げた。

混合ダブルスでは結成から１年３カ月の数野健太／栗原文音が、日本初のベスト８入りを果たした。試合を重ねるごとにコンビネーションが高まり、予選リーグは２勝１敗として、目標だった決勝トーナメントに進出した。

準々決勝では、ロンドン五輪金メダルなど数々のタイトルを持つ世界ランク１位・張楠（ファンナン）／趙蕓蕾（ファオユンレイ）（中国）と対戦。果敢に真っ向勝負を挑んで善戦してみせたが０－２で敗戦。ここで力尽きた。

「相手はさすがに強かった」と清々しく完敗を認めた２人。「ここまで栗原がひたむきについてきてくれた。五輪は夢の中のようだった」（数野）、「五輪は楽しかった。海外では混合をメインでやっている選手も多い。日本でも注目してもらえたらうれしい」（栗原）と話し、大粒の涙を流して五輪の戦いを振り返った。

群雄割拠の時代に突入

日本勢の活躍とは対照的に、ロンドン五輪で全５種目を制した中国の独占が崩

佐々木翔

▼覚悟を持って臨んだ最後の五輪。無念の予選敗退となったが、日本を支えた男の生き様はコートで光っていた



Medalist of Rio Olympics ◉リオ五輪メダリスト

男子シングルス
金　謝龍（中国）
銀　リー・チョンウェイ（マレーシア）
銅　ビクター・アクセルセン（デンマーク）
※佐々木翔：予選リーグ敗退

男子ダブルス
金　傅海峰／張楠（中国）
銀　ゴー／タン（マレーシア）
銅　ラングリッジ／エリス（イギリス）
※早川／遠藤：5位入賞

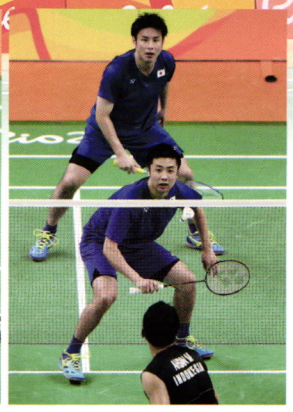
混合ダブルス
金　アマド／ナッチル（インドネシア）
銀　チャン／ゴー（マレーシア）
銅　張楠／趙雲蕾（中国）
※数野／栗原：5位入賞

女子シングルス
金　キャロリーナ・マリン（スペイン）
銀　P.V.シンドゥー（インド）
銅　奥原希望（日本）
※山口茜：5位入賞

女子ダブルス
金　髙橋／松友（日本）
銀　リター・ユール／ペダセン（デンマーク）
銅　鄭景銀／申昇瓚（韓国）







山口茜
▲左／初めての五輪で8強入り。インタノン、奥原希望との試合では持ち味を存分に発揮して好ラリーを展開した

早川賢一（奥）& 遠藤大由
▲右／予選リーグで世界王者を撃破した日本のエースが5位入賞。メダルには手が届かなかったが、2人の強さを世界に知らしめた



数野健太 & 栗原文音
◀混合ダブルスでは日本勢過去最高となるベスト8の成績。数野のアタック、栗原の前衛でのプレーが冴え渡った

れたことや、ロンドン五輪に続いて韓国勢が不振だったことが目についた。

中国の金メダルは男子シングルス・ダブルスの2種目にとどまり、女子は単複とも表彰台を逃した。男子シングルスでは3連覇をねらった林丹（リンダン）が4位。リー・チョンウェイ（マレーシア）は、その林丹との「世紀の一戦」といわれた名勝負を制して決勝へ。敗れはしたが、3大会連続でメダルを手にしてみせた。27歳の謝龍が初優勝して世代交代を印象づけたと同時に、中国勢としての金メダルを死守した。また、22歳のビクター・アクセルセン（デンマーク）が銅メダルを獲得。母国に96年アトランタ五輪金メダルのポール・エリック・ホイヤー（現世界バドミントン連盟会長）以来となる、この種目で20年ぶりのメダルをもたらした。

北京五輪とロンドン五輪では中国が金銀を独占した女子シングルスでは、23歳のキャロリーナ・マリン（スペイン）が決勝で21歳のP.V.シンドゥー（インド）を下し、スペインに初の金メダルをもたらした。銅メダルは21歳の奥原。シングルスは男女とも若い力が躍動した。

ダブルス3種目では、過去の五輪で無類の強さを誇った中国、韓国の不振が目立った。中国は男子ダブルスこそ傅海峰（フハイファン）／張楠が制して面目を保ったが、そのほかでは混合ダブルスの銅メダルのみ。5連覇中だった女子ダブルスは、まさかのメダル“0”に終わった。

男子ダブルスの柳延星（ユヨンソン）／李龍大（イヨンデ）、金基正（キムギジョン）／金沙朗（キムサラン）など優勝候補をそろえた韓国も、期待を裏切る結果となってしまった。全種目を通して手にしたメダルは、女子ダブルスの鄭景銀（ジョンキョンユン）／申昇瓚（シンソンチャン）の銅メダル1つ。逆にインドネシア、マレーシア、イギリス、デンマークなど、古豪が復活のメダルをそれぞれ手にしている。

中国王朝の牙城がついに崩れたバドミントン界。東京五輪に向け、群雄割拠の時代が到来する予感が膨らんだ。

物流を越えて、その先の次元へ

“Leading step up 2017”
さらなる高品質経営をめざして!!



PANTHER

TONAMI

トナミ運輸株式会社　www.tonami.co.jp

MEN'S SINGLES
男子シングルス



LEE Chong Wei
リー・チョンウェイ

（マレーシア）
1982年10月21日（33歳）
170cm 68kg／右利き

●主な成績
'16リオ五輪銀メダル
'12ロンドン五輪銀メダル
'08北京五輪銀メダル
世界選手権準優勝3回
全英選手権優勝3回

●PICKUP!
スピード、パワー、テクニックの三拍子が揃った、世界一流のトッププレーヤー。とくにスマッシュからネット前へ飛び込むアタックは必見！

Challenge to the next stage

新時代への挑戦!

世界を熱狂の渦に巻き込んだ4年に一度の五輪が終幕。
それと同時に、4年後の“TOKYO”に向け、新たな戦いがスタートする!
新時代への序章、その王者となるのは!?

MEN'S SINGLES
男子シングルス



TIAN Houwei
田厚威 ティアン・ホーウェイ（中国）

1992年1月11日（24歳）
179cm70kg／左利き

◉主な成績
'16全英選手権準優勝
'16アジア選手権4強
'15ホンコンチャイナオープン準優勝
'09世界ジュニア選手権優勝

◉PICK UP!
中国次期エースの座をねらう有望株。サウスポーから積極的に仕掛けて好機を演出する。今年はトマス杯メンバーに選出されるなど、首脳陣からの評価も高くなっている。



Jan O.JORGENSEN
ヤン・ウ・ヨルゲンセン（デンマーク）

1987年12月31日（28歳）
184cm76kg／右利き

◉主な成績
'16マレーシアオープン4強
'15欧州選手権優勝
'14インドネシアオープン優勝
'13フランスオープン優勝

◉PICK UP!
軽快なフットワークと無尽蔵なスタミナを武器に、長いラリー戦に持ち込んで活路を開く。欧州選手では数少ないスーパーシリーズ優勝経験者。



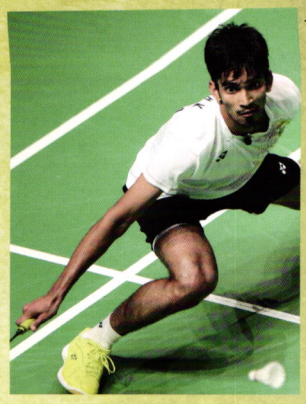
Viktor AXELSEN
ビクター・アクセルセン（デンマーク）

1994年1月4日（22歳）
194cm88kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪銅メダル
'16インドオープン準優勝
'15スーパーシリーズファイナル準優勝
'15ヨネックスオープンジャパン準優勝

◉PICK UP!
2010年に世界ジュニアを制し、シニア大会でも活躍。いまでは欧州の第一人者としてアジア勢に立ち向かう。パワフルなアタックとネット前でのトリッキーなプレーに注目！

Srikanth KIDAMBI
スリカンス・キダンビ
（インド）



1993年2月7日（23歳）／
178cm66kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪8強／'16シド・モディ国際（GPG）優勝
'15インドオープン優勝／'14中国オープン優勝

◉PICK UP!
長い手足でシャトルを巧みにさばいていく。地元の英雄ゴピチャンド（01年全英覇者）に師事し、結果を残してきた実力は本物だ。

Tommy SUGIARTO
トミー・スギアルト
（インドネシア）

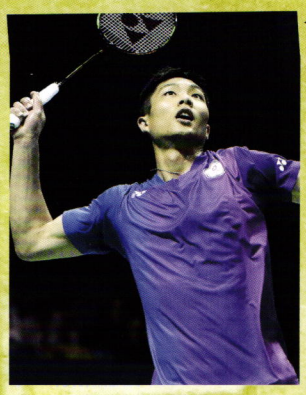


1988年5月31日（28歳）／
175cm71kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪16強／'15デンマークオープン準優勝
'15ヨネックスオープンジャパン4強／'13シンガポールオープン優勝

◉PICK UP!
堅実なプレーで相手のミスを誘い得点を重ねる。勢いに乗った時の爆発力は格上選手でも手がつけられない。父は元世界王者のイチョック・スギアルトというサラブレッド。

CHOU Tien Chen
周天成
チョウ・ティエンチェン
（チャイニーズ・タイペイ）



1990年1月8日（26歳）／
180cm78kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪8強／'16タイペイオープンGPG優勝
'15フランスオープン準優勝

◉PICK UP!
高い総合力に加え、劣勢からも相手の攻撃をはね返す強いフィジカルを持っている。近年実力を伸ばしているチャイニーズ・タイペイの頼れるエース！

Takuma UEDA
上田拓馬
うえだ・たくま
（日本）

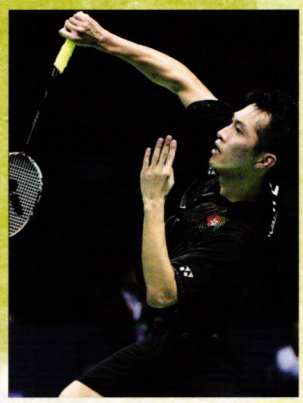


1989年3月21日（27歳）／
173cm67kg／右利き
日本ユニシス／東京都出身／
埼玉栄中ー埼玉栄高ー早稲田大

◉主な成績
'15インドオープン8強／'13全日本総合準優勝

◉PICK UP!
スピード、テクニックともに日本トップクラス。レシーブからラリーを構築して、スマッシュ＆ネットの攻撃につなげていく。

NG Ka Long Angus
伍家朗
ン・カロン
（ホンコンチャイナ）



1994年6月24日（22歳）／
181cm70kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪16強／'16シンガポールオープン4強
'15ホンコンチャイナオープン4強
'12世界ジュニア選手権・ダブルス優勝

◉PICK UP!
2012年に千葉で開催された世界ジュニア複で優勝。シングルスに転向して才能が開花し、昨年は地元のスーパーシリーズで4強入り。積極的な攻撃が持ち味。

◉スーパーシリーズ優勝者
SUPER SERIES WINNER
（15年9月～16年6月）

■2015年
第8戦（9月）韓国オープン>>謝龍（中国）
第9戦（10月）デンマークオープン>>謝龍（中国）
第10戦（10月）フランスオープン>>リー・チョンウェイ（マレーシア）
第11戦（11月）中国オープン>>リー・チョンウェイ（マレーシア）
第12戦（11月）ホンコンチャイナオープン>>リー・チョンウェイ（マレーシア）
SSF（12月）スーパーシリーズファイナル>>桃田賢斗（日本）

■2016年
第1戦（3月）全英選手権>>林丹（中国）
第2戦（3月）インドオープン>>桃田賢斗（日本）
第3戦（4月）マレーシアオープン>>リー・チョンウェイ（マレーシア）
第4戦（4月）シンガポールオープン>>ソニ・ドゥイ・クンチョロ（インドネシア）
第5戦（5月）インドネシアオープン>>リー・チョンウェイ（マレーシア）
第6戦（6月）オーストラリアオープン>>H・K・ヴィテンフス（デンマーク）

BWF世界ランキング
（9月1日現在）
1位 ◉リー・チョンウェイ（マレーシア）
2位 ◉謝龍（中国）
3位 ◉林丹（中国）
4位 ◉ビクター・アクセルセン（デンマーク）
5位 ◉ヤン・ウ・ヨルゲンセン（デンマーク）
6位 ◉田厚威（中国）
7位 ◉周天成（台湾）
8位 ◉孫完虎（韓国）
9位 ◉トミー・スギアルト（インドネシア）
10位 ◉スリカンス・キダンビ（インド）
11位 ◉H・K・ヴィテンフス（デンマーク）
12位 ◉伍家朗（ホンコンチャイナ）
13位 ◉ラジブ・オーセフ（イングランド）
14位 ◉胡賓（ホンコンチャイナ）
15位 ◉マーク・ツィーブラー（ドイツ）

◉男子シングルス展望　PREVIEW

迫る世代交代の波 新旧トッププレーヤーが激突!

今年で35周年を迎えるヨネックスオープンジャパンには、頂点を争うのにふさわしい精鋭が集結した。とくに今年はリオ五輪直後に行なわれる最初のスーパーシリーズ。メダリストに加え、新世代を担う各国の若手選手も参戦している。

男子シングルスにもトップランカーの名前がズラリと並んだ。なかでも頂点に近い存在はリオ五輪・銀メダリストのリー・チョンウェイだろう。日本との相性は抜群で、これまで5度も優勝杯を掲げた実績がある。長年トップリーダーとして活躍する33歳だが、スピードやパワーに大きな衰えを感じさせることもない。リオ五輪を終えて進退に注目も集まったが、「来年の世界選手権までプレーする」と明言しており、世界一流のプレーが再びコートで見られることになった。名実ともに"最強"といわれる男の雄姿を見逃すことはできない。

チョンウェイの独走に待ったをかけるのが、リオ五輪・銅メダルを獲得したビクター・アクセルセンだ。次世代のエース候補に名乗りを上げる22歳は、これまでスーパーシリーズで決勝の舞台に立つことは多かったが、タイトル獲得には届いていない。前回大会でも決勝まで勝ち進むも、惜しくも優勝を逃してしまった。今回は、一年越しのリベンジVに燃えているに違いない。

この2強を追うのが、ヤン・ウ・ヨルゲンセン、田厚威（ティアンホーウェイ）、周天成（チョウティエンチェン）、スリカンス・キダンビらスーパーシリーズ上位常連の選手たち。ヨルゲンセンはリオ五輪こそ不本意な結果に終わったが、再スタートとなるこの大会で、その溜まった鬱憤（うっぷん）を晴らしにくるだろう。田厚威は五輪出場こそかなわなかったが、今年は全英選手権準Vの実績を残した。ライバルを倒して頂点に立ち、さらなる飛躍のきっかけをつかみたい。

周天成、スリカンスらはリオ五輪で8強に入るなど、メダル獲得まであと一歩に迫る活躍をみせた。2人はこの敗戦を4年後の東京五輪につなげられる世代。そして、22歳の伍家朗（ウ・カロン）などフレッシュな選手とともに、新たな時代を切り開くことが求められる。偉大なベテランが上位を占める勢力図を、この大会でなんとか一変させて、世代交代をさらに加速させたい。

日本人選手(高橋・松友・奥原ら)出場試合を中心に1回戦から決勝まで放送!

バドミントンスーパーシリーズ

ヨネックスオープンジャパン2016

世界を凌駕せよ



J SPORTS

20th ANNIVERSARY 新たな挑戦へ

詳しい放送スケジュールは
J SPORTSオフィシャルホームページをご確認ください。 www.jsports.co.jp

Photo by Robertus Pudyanto/Getty Images 写真/新華社/アフロ 写真:AP/アフロ

バドミントン見るならJ SPORTS

●バドミントンファンの必見の試合を"とことん"お届け!! ●国内外、主要大会を完全網羅!!

2016年度 放送予定の大会

開催日時	大会	開催地
10/18(火)~23(日)	バドミントンスーパーシリーズプレミア デンマークオープン2016	オーデンセ
11/15(火)~20(日)	バドミントンスーパーシリーズプレミア チャイナオープン2016	福州市
12/14(水)~18(日)	バドミントンスーパーシリーズファイナルズ2016	ドバイ
11月~2017.2月	バドミントン S/J LEAGUE(日本リーグ)2016	札幌市ほか



J SPORTSオフィシャルキャラクター
ピクトリ ピクトリ

J SPORTSは、BS放送(スカパー!)、ケーブルテレビで
ご覧いただける国内最大4チャンネルのスポーツテレビ局です。

J SPORTS カスタマーセンター 03-5500-3488 受付時間 午前10:00~午後6:00

WOMEN'S SINGLES
女子シングルス

メダリストの競演!

Contest of medalist

リオの地で熱戦を繰り広げたメダリストが参戦する女子シングルス。
五輪の再戦が東京で見られるか!?



Nozomi OKUHARA

奥原希望 おくはら・のぞみ

(日本)

1995年3月13日(21歳)
156cm51kg／右利き
日本ユニシス／長野県出身
仁科台中ー大宮東高ー日本ウェルネス大

●主な成績
'16リオ五輪銅メダル／'16全英選手権優勝
'15ヨネックスオープンジャパン優勝／'15スーパーシリーズファイナル優勝

●PICK UP!
昨年の本大会覇者。豊富なスタミナと素早いフットワークを武器に、世界の強豪を切り崩していく日本のエース。的確な配球や駆け引きなども世界トップレベルといわれている。

●スーパーシリーズ優勝者
SUPER SERIES WINNER
(15年9月～16年6月)
■2015年
第8戦(9月)韓国オープン●成池鉉(韓国)
第9戦(10月)デンマークオープン●李雪芮(中国)
第10戦(10月)フランスオープン●キャロリーナ・マリン(スペイン)
第11戦(11月)中国オープン●李雪芮(中国)
第12戦(11月)ホンコンチャイナオープン●キャロリーナ・マリン(スペイン)
SSF(12月)スーパーシリーズファイナル●奥原希望(日本)
■2016年
第1戦(3月)全英選手権●奥原希望(日本)
第2戦(3月)インドオープン●ラチャノック・インタノン(タイ)
第3戦(4月)マレーシアオープン●ラチャノック・インタノン(タイ)
第4戦(4月)シンガポールオープン●ラチャノック・インタノン(タイ)
第5戦(5月)インドネシアオープン●戴資穎(チャイニーズ・タイペイ)
第6戦(6月)オーストラリアオープン●サイナ・ネワル(インド)

WOMEN'S SINGLES
女子シングルス



Carolina MARIN
キャロリーナ・マリン（スペイン）

1993年6月15日（23歳）
172cm62kg／左利き

◉主な成績
'16リオ五輪金メダル
'14'15世界選手権優勝
'15全英選手権優勝
'15マレーシアオープン優勝
'15フランスオープン優勝

◉PICK UP!
世界選手権２連覇、全英選手権優勝など数多くの実績を残す最強の女王。リオ五輪ではスペイン初の金メダルを獲得した。底知れぬスタミナと鋭いアタックで頂点をめざす！

P.V.Sindhu
P.V.シンドゥー（インド）

1995年7月5日（21歳）
179cm65 kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪銀メダル
'15デンマークオープン準優勝
'13'14世界選手権3位

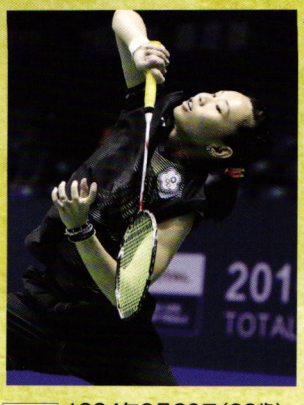
◉PICK UP!
リオ五輪では最高のパフォーマンスを披露して銀メダルを獲得。長身から放つ鋭いスマッシュで相手を圧倒。クロス展開で相手を追い込みチャンスを作り出す。

Ratchanok INTANON
ラチャノック・インタノン（タイ）

1995年2月5日（21歳）
169cm59kg／右利き

◉主な成績
'16インドオープン優勝
'16マレーシアオープン優勝
'16シンガポールオープン優勝
'13世界選手権優勝

◉PICK UP!
18歳のときに世界選手権史上最年少Vを達成。その後低迷したが、今年はスーパーシリーズ３連続優勝で復活を印象づけた。俊敏なフットワークと切れ味鋭いカットが武器。



TAI Tzu Ying
戴資穎 タイ・ツーイン（チャイニーズ・タイペイ）

1994年6月20日（22歳）
162cm57kg／右利き

◉主な成績
'16マレーシアオープン準優勝／'16インドネシアオープン優勝
'14スーパーシリーズファイナル優勝

◉PICK UP!
強靭なフィジカルから打ち込むスマッシュで、相手をグイグイ押し込むスタイル。攻守に高い技術を持っている。４年前には本大会で優勝した実績もある。



HE Bingjiao
何冰嬌 ヘ・ビンジャオ（中国）

1997年3月21日（19歳）
168cm／左利き

◉主な成績
'16スイスオープングランプリゴールド優勝
'16シンガポールオープン4強／'14世界ジュニア準優勝

◉PICK UP!
世界ジュニアやアジアジュニアなどで結果を出しており、今年はシニアの大会でもシンガポールオープン４強入りを果たした。中国の次世代のエースとされる注目株だ。



Akane YAMAGUCHI
山口 茜 やまぐち・あかね（日本）

1997年6月6日（19歳）
156cm55kg／右利き
再春館製薬所／福井県出身
勝山南部中ー勝山高

◉主な成績
'16リオ五輪8強／'15ヨネックスオープンジャパン準優勝
'13ヨネックスオープンジャパン優勝

◉PICK UP!
リオ五輪で奥原と日本人対決を演じたのは記憶に新しい。スーパー高校生から今春、再春館製薬所に入部。社会人としてより強い責任感を持って戦う山口のプレーには注目だ！



SUN Yu
孫瑜 スン・ユ（中国）

1994年2月28日（22歳）
184cm70kg／右利き

◉主な成績
'16オーストラリアオープン準優勝
'16シンガポールオープン準優勝
'15韓国マスターズ準優勝／'12世界ジュニア選手権優勝

◉PICK UP!
180cm超の体躯を生かした重みのある攻撃で相手にプレッシャーをかける。ジュニア時代から結果を残しており、世代交代を進める中国の一番手争いに名乗りを上げる。



Sayaka SATO
佐藤冴香 さとう・さやか（日本）

1991年3月29日（25歳）
171cm67kg／左利き
ヨネックス／宮城県出身／仙台第一中ー常盤木学園高ー日本体育大

◉主な成績
'16シド・モディ国際GPG準優勝／'15全日本総合準優勝
'15韓国マスターズGPG優勝／'12ロンドン五輪16強

◉PICK UP!
得意のスマッシュ＆ネットに加え、最近はレシーブからの展開にもバリエーションが増えてきた。サウスポーから繰り出すアタックは世界トップレベル！

BWF世界ランキング
（9月1日現在）
1位 ◉ キャロリーナ・マリン（スペイン）
2位 ◉ 李雪芮（中国）
3位 ◉ 奥原希望（日本）
4位 ◉ 王儀涵（中国）
5位 ◉ ラチャノック・インタノン（タイ）
6位 ◉ 王適嫻（中国）
7位 ◉ 戴資穎（チャイニーズ・タイペイ）
8位 ◉ 成池鉉（韓国）
9位 ◉ サイナ・ネワル（インド）
10位 ◉ P.V.シンドゥ（インド）
11位 ◉ 山口茜（日本）
12位 ◉ 孫瑜（中国）
13位 ◉ 何冰嬌（中国）
14位 ◉ 佐藤冴香（日本）
15位 ◉ ポルンティップ・ブラナプラサットスク（タイ）

◉女子シングルス展望　PREVIEW

世界トップレベルが集結！五輪メダリストの激闘にも注目！

豪華絢爛なメンバーが顔を揃えた女子シングルス。なかでも注目度が高いのは、リオ五輪メダリストの３選手だろう。金メダリストとなったキャロリーナ・マリン、銀メダルのP.V.シンドゥー、そして銅メダルを手にした奥原希望が、五輪後最初のスーパーシリーズである今大会でしのぎを削ることになる。

ヨーロッパ選手では、同種目初の五輪制覇を遂げたマリン。優勝候補の期待と重圧をしっかり乗り越えて、表彰台の一番上に立った。２年前、彗星のごとく現れたヒロインは14＆15年世界選手権を制し、これまで中国選手が席巻した同種目に大きな風穴を開けた。これにより中国１強の時代から、他国の強豪選手がトップをねらえる戦国時代へと突入。その先頭を切るマリンが、今度は日本でのタイトル奪取に照準を合わせる。

銀メダルのシンドゥーは、高い能力を持ちながら、ここ１年は結果が出せずに伸び悩んでいた。しかし、今回の五輪で高いポテンシャルを大爆発させ、母国インドに２大会連続となるメダルを持ち帰った。今後は他国からのマークが一層厳しくなるが、持ち前のパワーを武器にさらなる高みをめざしていく。

女子シングルスでは日本初の銅メダルをなった奥原は、ディフェンディングチャンピオンとしてコートに立つ。大会前は「リオ五輪後初のスーパーシリーズ。気持ちを切り替えて臨みたい」と控えめだったが、世界トップレベルのねばり強さと巧みな配球力で、ねらうは当然、大会２連覇となる。

３人のメダリストを追随するのが、今春のスーパーシリーズで３連続Vを達成したラチャノック・インタノンや、過去にヨネックスオープンジャパン優勝経験のある戴資穎（タイツーイン）だ。両者ともにパワー、スピード、テクニックは申し分ない。中国の若手、孫瑜（スンユ）や何冰嬌（ヘビンジャオ）も上位争いを盛り上げるはずだ。

日本からは奥原を筆頭に、山口茜、佐藤冴香、三谷美菜津らが海外の強豪を迎えうつ。13年優勝の山口は「日本のファンに楽しんでもらえるプレーができるように、精一杯頑張りたい」と語り、３年ぶりのV奪還でファンを喜ばせたい。このほかにも、成長株の大堀彩なども上位進出の期待がかかる。

VOICE

リオの舞台裏を支えた
ストリンガーに聞く

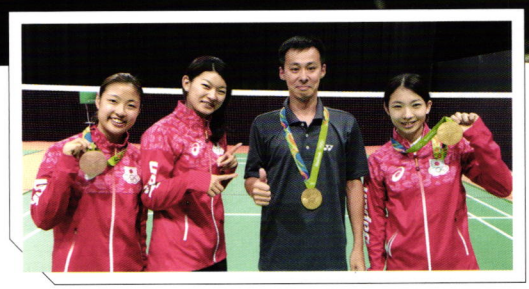


リオ五輪でストリングの張り替えを行なう中原氏。選手の要望を頭に入れながら、１本あたり15分ほどで張り上げる。「どんなラケットでも、折らずに選手に返すことが一番」（中原氏）

YONEX STRINGING TEAM

中原健一氏インタビュー

「選手が最高のプレーをして勝ってくれるのが、一番の喜び」



▲メダルを獲得した奥原希望、髙橋礼華、松友美佐紀と。最高のラケットに仕上げる中原氏に、選手からの感謝は尽きない（写真提供／中原氏）

リオ五輪・バドミントン競技のオフィシャル・サプライヤーであるヨネックスは、大会会場でストリンギングサービスも行なっていた。ストリンギングサービスとは、選手が使用するラケットのストリングを張り上げる作業のこと。卓越した技術を有し、経験豊富なストリンガーが世界中から集結し、「ヨネックス・ストリンギングチーム」として活動していたのだ。このなかで唯一、日本人として加わった中原健一氏に、活動の様子を振り返ってもらった。

取材・構成／平田美穂　　写真提供／ヨネックス

700人の中からの精鋭7人

――まず、「ヨネックス・ストリンギングチーム」について、教えてください。

中原　私のようなチームメンバーはテニス、ソフトテニスを含めると、世界に約700人いると聞いています。その中から選ばれたバドミントンのストリンガーが、ヨネックスオープンジャパンといった国際大会などに派遣されています。

――中原さんは、バドミントンでは日本人初の「五輪ストリンガー」になったんですよね。

中原　はい。バドミントンでの日本人の起用は史上初であり、海外での国際大会としても初めてとのことでした。

――リオ五輪のストリンギングチームは、どんなメンバー構成だったのですか？

中原　メンバーは７人でした。イギリス人２名、ドイツ人１名、中国人１名、ペルー人１名、アメリカ人１名、そして、日本人の私。世界選手権、全英オープン、トマス・ユーバー杯など、ビッグトーナメントを経験している精鋭ストリンガーばかりです。４大会連続で五輪に派遣されたというベテランの方もいました。

――具体的には、どんな活動をしていたのですか？

中原　選手がラケットを持ってきたら、受付用のパソコンに、選手名、ラケット、ストリングの種類、強さ、ストリンガーの名前など、さまざまなデータを入力します。そのうえで、仕上がり希望時間に合わせて張り上げていきました。

――作業していた場所は、どこにあったのですか？

中原　ヨネックス社は五輪のオフィシャル・サプライヤーとして唯一、会場内での作業が許されていました。私たちがストリンギングをしていたのは、メインコート３面があったフロア外側にある専用スペースです。選手の声や観客の声援がよく聞こえる中で張っていたんですよ。

――それはすごい！　作業の時間帯は、試合開始から終了までですか？

中原　まず、補足しておきますと、活動は試合が始まる前、８月１日の練習期間からスタートしました。練習でもガットは切れますからね。一番忙しい時期、練習期間の終盤から予選リーグ序盤あたりまでは、朝８時には会場に入って、夜９時半頃まで作業。一番多い時期は一日100本ぐらい持ち込まれてきて、一人で20本以上張っていました。

――すごい数ですね！　１本あたり何分ぐらいで張り上げるのですか？

中原　選手の要望などデータを頭に入れて、平均して１本15分ほどでしょうか。リオ五輪期間中に持ち込まれたラケット



▲リオ五輪のヨネックス・ストリンギングチーム。世界トップの技術を持つ精鋭７人がヨネックス社製のマシンを使い、選手をサポートした



◀選手から持ち込まれたラケット。総数は８１１本、多い日で1日約１００本。持ち込まれた順番に受付し、張り上げていった（写真提供／中原氏）



©GettyImages

◀中原氏は日本代表のオフィシャルストリンガーも務めており、今大会でも日本人選手が使用するラケットのほとんどを担当した。金メダルを獲得した高橋／松友をはじめとする日本勢の躍進を、陰で支えていた

は811本。私は177本張りました。

日本代表の快進撃をサポート

――五輪は特別な舞台といいますが、苦労したことはありましたか？

中原　通常の大会では、ヨネックス社の契約選手、ヨネックス社のラケットを使用する選手をサポートします。ところが五輪は、サポートの対象が出場選手全員なんです。そうなると、他メーカーのラケットも持ち込まれてきます。

――他メーカーのラケットに、さまざまなストリングを張ることになる。

中原　はい。ラケットによっては、いつもと同じ張り方をすると、折れてしまうこともあるんです。ラケットが折れて戻ってきたら選手はショックだし、パフォーマンスにも影響するでしょう。どんなラケットでも傷つけないように、選手の要望を満たしながら張り上げる。そこはストリンガーの技術と経験のなせる技であり、それがあってこそ、選手との信頼関係が築けると思っています。

――リオでは、中原さんが日本人選手のラケットを担当したのですか？

中原　誰がどこの国の担当という形ではなく、仕上がり希望時間に合わせた順番に張り上げていました。ただ、タイミングよく日本人選手のラケットが回ってくることが多くて、ほとんど私の手で張れたと思います。

――中原さんがストリンギングチームにいて、選手も心強かったでしょうね。

中原　リオ出発直前の７月29日まで、国内合宿に11日間帯同していました。一度別れてリオで再会しましたが、日本で張り上げて渡したラケットが、飛行機内の気圧の変化でゆるんでいたんです。ゆるみが気になる選手は、会場入りしてから張り替えました。

――そんなことがあるんですね。

中原　そして、会場での練習に入ると、遠藤大由選手が「シャトルが飛ばない。重く感じる」と相談してきたんです。そこで、普段のテンション（強さ）から２ポンド落とすことにしました。

――五輪の本番直前に２ポンドも!?

中原　いろいろ話してみて、１ポンドでは変化が感じられないだろうと思ったんです。試してもらったら「これなら、いつも通りに飛びます」と。



▲大会期間中、選手本人が作業スペースを訪れることもしばしば。マシンにサインを書いていく選手もいた（写真は中国代表の林丹）

――リオでの快進撃（予選リーグで、五輪当時世界ランク２位のアッサン／セティアワン、同５位の洪煒／柴飇に勝利）に、そんな裏話があったとは…！

中原　予選リーグでの２連勝はうれしかったし、鳥肌が立ちましたね。遠藤選手は、その日の会場や調子によって、テンションを上げ下げする選手なんです。五輪の舞台でそのサポートができて、本当によかったです。外国人だけのストリンギングチームだったら、そこまでの要望は言い出せなかったでしょうから。



▼中原氏の信念は「カタログ表記どおりに張り上げる」。ラケットに負担をかけない「２本張り」で、横糸を強めに張る

「最高のラケット」に仕上げる職人

――あらためて、ストリンガーとしての一番の喜びを教えてください。

中原　一番は、選手が最高のプレーをして勝ってくれることです。そこに至るまでの段階として、メーカーさんが開発した素晴らしいラケットと、ストリングがある。それを組み合わせることによって、選手は初めてシャトルを打つことができるわけです。最高のラケットに仕上げるのはストリンガーの仕事。とても魅力ある立場だと思っています。

――今年のヨネックスオープンジャパンでは昨年に続き、観客から見える場所で作業するそうですね。

中原　はい。見られることで緊張感が生まれますし、何よりも、ストリンガーという存在に関心を持ってもらえることがうれしいです。

――中原さんに憧れて、ストリンガーをめざす人が出てくるかもしれません。

中原　そうなってくれたら、本当にうれしいですね。



PROFILE

なかはら・けんいち◎1979年10月生まれ、東京都出身。小平市立上水中ー埼玉・小松原高ー（株）ラケットショップフジ。高校時代にストリンギング・マシンと出会い、ストリンガーという立場に興味を持つ。2014年1月より、日本代表オフィシャルストリンガーに。ヨネックスオープンジャパンでは10年以上にわたり、ヨネックス・ストリンギングチームの一員として参戦している。

©M.Kurosaki

こころとからだに、
おいしいものを。

DyDo

New

今日も、
一生懸命、
頑張っている
あなたへ。

海洋
ミネラル
深層水



miu

おいしさ、ミネラル、いいとこどり!

※この商品のミネラルとは、ナトリウムとカリウムのことです。miu、miuレモン& オレンジ、miu レモン& グレープフルーツスパークリングは純水に室戸海洋深層水由来の成分を添加しています。
miuプラススポーツのアミノ酸とは、ロイシン、イソロイシン、バリンのことです。室戸海洋深層水の原水を3.5%使用しています。※全国清涼飲料工業会における「熱中症対策」表示ガイドラインより

ダイドードリンコ株式会社

MEN'S DOUBLES
男子ダブルス

疾風迅雷のバトル!

Hendra SETIAWAN & Mohammad AHSAN
ヘンドラ・セティアワン &モハマド・アッサン

(インドネシア)

セティアワン(左)／1984年8月25日(32歳)
183cm82kg／右利き
アッサン／1987年9月7日(29歳)
173cm72kg／右利き

◉主な成績
'13'15世界選手権優勝
'13'15スーパーシリーズファイナル優勝
'15マレーシアオープン優勝
'14全英選手権優勝

◉PICK UP!
2度の世界選手権優勝のほか、数多くの国際タイトルを獲得。観る者を惹きつける抜群のテクニックと、ハイスピードな攻撃を駆使するアジアン・スタイルが2人の真骨頂だ。

Battle of speed and power

5種目の中で最も激しいバトルが繰り広げられる男子ダブルス。目まぐるしいラリーと迫力あるアタックを刮目せよ!

MEN'S DOUBLES
男子ダブルス



Kenichi HAYAKAWA & Hiroyuki ENDO
早川賢一 & 遠藤大由(日本)

はやかわ・けんいち　えんどう・ひろゆき

早川(右)／1986年4月5日(30歳)
177cm80kg／右利き／
日本ユニシス／滋賀県出身
日吉中—比叡山高—日本大
遠藤／1986年12月16日(29歳)
171cm72kg／右利き／
日本ユニシス／埼玉県出身
里中—小松原高—日本体育大

◉主な成績

'16リオ五輪8強／'15世界選手権3位
'15ヨネックスオープンジャパン4強
'13'14'16全英選手権準優勝
'14フランスオープン準優勝

◉PICK UP!

日本のエースとして男子ダブルスを牽引。早川の前衛での鋭い読みやテクニックは世界トップレベル。後衛から破壊力あるスマッシュで撃ちぬく遠藤の、豊富な運動量にも注目だ！

BWF世界ランキング
(9月1日現在)

1位 ◉柳延星／李龍大(韓国)
2位 ◉傅海峰／張楠(中国)
3位 ◉金基正／金沙朗(韓国)
4位 ◉洪煒／柴鵬(中国)
5位 ◉セティアワン／アッサン(インドネシア)
6位 ◉高成炫／申白喆(韓国)
7位 ◉ボー／モゲンセン(デンマーク)
8位 ◉早川賢一／遠藤大由(日本)
9位 ◉ゴー／タン(マレーシア)
10位 ◉ピーターセン／コールディング(デンマーク)
11位 ◉フェルナルディ／スカムルジョ(インドネシア)
12位 ◉イワノフ／ソゾノフ(ロシア)
13位 ◉プラタマ／スワルディ(インドネシア)
14位 ◉劉雨辰／李俊慧(中国)
15位 ◉園田啓悟／嘉村健士(日本)

GOH V SHEM & TAN WEE KIONG
ゴー・V シェム & タン・ウィーキョン
(マレーシア)



ゴー(上)／1989年5月20日(27歳)／180cm70kg／右利き
タン／1989年5月21日(27歳)／177cm77kg／右利き

◉主な成績

'16リオ五輪銀メダル／'16インドオープン4強、
'16インドネシアオープン8強／'15ヨネックスオープンジャパン8強

◉PICK UP!

リオ五輪では母国・マレーシアに同種目で久々のメダルを持ち帰った。スピーディーな展開を好み、相手の隙を見つけるや連続アタックで押し込み得点を奪う。

◉スーパーシリーズ優勝者
SUPER SERIES WINNER
(15年9月～16年6月)

■2015年
第8戦(9月)韓国オープン◉柳延星／李龍大(韓国)
第9戦(10月)デンマークオープン◉柳延星／李龍大(韓国)
第10戦(10月)フランスオープン◉柳延星／李龍大(韓国)
第11戦(11月)中国オープン◉金基正／金沙朗(韓国)
第12戦(11月)ホンコンチャイナオープン◉柳延星／李龍大(韓国)
SSF(12月)スーパーシリーズファイナル◉セティアワン／アッサン(インドネシア)

■2016年
第1戦(3月)全英選手権◉イワノフ／ソゾノフ(ロシア)
第2戦(3月)インドオープン◉フェルナルディ／スカムルジョ(インドネシア)
第3戦(4月)マレーシアオープン◉金基正／金沙朗(韓国)
第4戦(4月)シンガポールオープン◉傅海峰／張楠(中国)
第5戦(5月)インドネシアオープン◉柳延星／李龍大(韓国)
第6戦(6月)オーストラリアオープン◉フェルナルディ／スカムルジョ(インドネシア)





HONG Wei & CHAI Biao
洪煒 & 柴飚（中国）

ホン・ウェイ　チャイ・ビャオ

洪煒（左）／1989年10月4日（26歳）／192cm86kg／右利き
柴飚／1990年10月10日（25歳）／186cm80kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪4位
'16マレーシアオープン準優勝
'16インドネシアオープン準優勝
'15スーパーシリーズファイナル準優勝

◉PICK UP!
長身から繰り出すパワフルな攻撃で相手を圧倒。ネットスレスレのドライブ戦にも強く、激しいラリーで試合を制す。五輪のメダルを逃した悔しさを本大会で晴らしたい。

Mathias BOE & Carsten MOGENSEN
マシアス・ボー & カールステン・モゲンセン（デンマーク）

ボー（右）／1980年7月11日（36歳）／185cm75kg／左利き
モゲンセン／1983年7月24日（33歳）／188cm75kg／右利き

◉主な成績
'15全英選手権優勝
'15ホンコンチャイナオープン準優勝
'15欧州選手権優勝
'12ロンドン五輪銀メダル

◉PICK UP!
今年２月にモゲンセンが倒れて脳の手術を受けるも、懸命なリハビリで戦線復帰。見事２度目の五輪出場を果たす。ベテランらしい巧みな戦術で勝利をもぎとる。





Keigo SONODA & Takeshi KAMURA
園田啓悟 & 嘉村健士（日本）

そのだ・けいご　かむら・たけし

園田（右）／1990年2月20日（26歳）／169cm70kg／右利き
トナミ運輸／熊本県出身／八代第三中―八代東高―くまもと八代YKK AP
嘉村／1990年2年14日（26歳）／169cm66kg／右利き
トナミ運輸／佐賀県出身／唐津第一中―八代東高―早稲田大

◉主な成績
'16シンガポールオープン準優勝
'16アジア選手権4強
'15全日本総合優勝

◉PICK UP!
昨年末の全日本総合を制して日本一に。今年はスーパーシリーズで準優勝の実績を残すなど着々と成長を遂げている。得意の「ノーロブ」スタイルで世界を撃破するか!?

Takuro HOKI & Yugo KOBAYASHI
保木卓朗 & 小林優吾（日本）

ほき・たくろう　こばやし・ゆうご

保木（左）／1995年8月14日（21歳）／167cm66kg／右利き
トナミ運輸／山口県出身／富岡第一中―富岡高
小林／1995年7年10日（21歳）／175cm70kg／左利き
トナミ運輸／宮城県出身／富岡第一中―富岡高

◉主な成績
'16USオープングランプリゴールド準優勝
'16スペインインターナショナル優勝
'15全日本総合準優勝

◉PICK UP!
今年日本A代表に選ばれ、５月のトマス杯に出場。７月にはグランプリゴールドの大会で準優勝を果たした期待の成長株。左右ペアの強みを生かしてポイントを積み重ねていく。

◉男子ダブルス展望　PREVIEW

見応えある高速ラリー！早川&遠藤が初Vに挑む！

スピード、パワー、テクニックなど、バドミントンの“迫力”が濃縮されている男子ダブルス。今回注目を集めるのが、リオ五輪で手に汗握るラリーを展開し、メダルまであと一歩に迫った早川賢一／遠藤大由だろう。日本のエースとして活躍する２人は、スーパーシリーズなどで準優勝、４強の成績を数多く残している。しかし、タイトル獲得は実現しておらず、悲願ともいえる“優勝”の二文字を、日本の地でつかみにいく。

小・中・高、そして大学と、各年代で活躍した早川／遠藤。社会人で初めてチームメイトになると、2010年からペアを組んで主戦場を世界へと移した。これまでに世界選手権銅メダル（15年）や、伝統と格式の高い全英選手権で３度決勝に進むなど、世界トップと比べても遜色ないペアに成長。満を持して出場したリオ五輪は、予選リーグ途中で早川がケガを負うアクシデントがあったものの、それまでは強豪・中国ペアを破り、世界王者のセティアワン／アッサンから大金星をつかんだ。メダルには手が届かなかったが、多くのファンが見守る東京体育館でその悔しさを晴らしてくれるはずだ。

２人の前に立ちはだかるのが、２年前の本大会覇者、セティアワン／アッサンだ。五輪では早川／遠藤に敗れ、まさかの予選敗退を喫したが、そのリベンジを虎視眈々とねらう。逆襲に燃える世界王者ほど怖い存在はない。初制覇に挑む日本ペアは、この大きな壁を乗り越えることが求められる。

これに続くのが、リオ五輪で銀メダルに輝いたゴー／タン。ここ数年、マレーシア選手は大舞台で結果を残せなかったが、見事にその呪縛を破って五輪のセンターコートに立った。結果は準優勝に終わったが、２人は東京五輪にも挑戦できる年代だ。さらなるレベルアップに向けて、スーパーシリーズのタイトル奪取をねらってくるだろう。

そのほかでは、リオ五輪４位の洪煒（ホンウェイ）／柴飚（チャイビャオ）（中国）や、トマス杯優勝国・デンマークからボー／モゲンセン、ピーターセン／コールディングらが参戦。日本からも今年のシンガポールオープンで準優勝を飾った園田啓悟／嘉村健士や、保木卓朗／小林優吾といったフレッシュなメンバーが出場し、海外の精鋭を迎えうつ。

先を読む。
深く読む。



日本ユニシスグループは「先見性（Foresight）」と「洞察力（insight）」で、
未来にはあたり前になる革新的なサービスを実現し、人と社会に貢献します。

日本ユニシス実業団バドミントン部

Foresight in sight

UNISYS
日本ユニシスグループ

さらなる高みへ

新たなスタートをきった世界トップランカーたちが参戦！
強敵との勝負を制して、伝統の大会での頂点をめざす！



Aim for Higher Goals

Ayaka TKAHASHI & Misaki MATSUTOMO
髙橋礼華 & 松友美佐紀

たかはし・あやか　　まつとも・みさき

（日本）

髙橋（右）／1990年4月19日（26歳）
164cm58kg／右利き
日本ユニシス／奈良県出身
聖ウルスラ学院英智中―聖ウルスラ学院英智高
松友／1992年2月8日（24歳）
159.5cm51kg／右利き
日本ユニシス／徳島県出身
徳島中―聖ウルスラ学院英智高

◉主な成績
'16リオ五輪金メダル
'16全英選手権優勝
'16インドネシアオープン優勝
'15'16インドオープン優勝
'14アジア大会銀メダル
'14ヨネックスオープンジャパン優勝
'14スーパーシリーズファイナル優勝

◉PICK UP!
日本バドミントン史上初の五輪金メダルを獲得。後衛・高橋の緩急つけたアタック、前衛・松友の鋭い読みとテクニックが織りなすコンビネーションは世界一！本大会でも2度目の頂点をねらう。

WOMEN'S DOUBLES
女子ダブルス

WOMEN'S DOUBLES
女子ダブルス



Kamilla RYTTER JUHL & Christinna PEDERSEN
カミラ・リター・ユール & クリスティナ・ペダセン

リター・ユール（右）／1983年11月23日（32歳）／183cm71kg／左利き
ペダセン／1986年5月12日（30歳）／178cm68kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪銀メダル
'16欧州選手権優勝
'15世界選手権準優勝
'15ヨネックスオープンジャパン準優勝

◉PICK UP!
リオ五輪決勝では髙橋／松友と激闘を演じた。長身から繰り出す角度あるスマッシュを武器に相手を圧倒する。勝利に対する執念も強く、気迫のこもったプレーでポイントをつかみにいく。

LUO Ying & LUO Yu
駱贏 & 駱羽（中国）

ルオ・イン　ルオ・ユー

駱贏（右）／1991年1月11日（25歳）／164cm62kg／右利き
駱羽／1991年1月11日（25歳）／164cm64kg／右利き

◉主な成績
'16中国マスターズグランプリゴールド優勝
'15スーパーシリーズファイナル優勝
'15マレーシアオープン優勝
'14アジア選手権優勝

◉PICK UP!
双子ペアとして注目を集め、昨年はスーパーシリーズファイナル優勝など実績を積み重ねた。息の合ったコンビネーションやねばり強いラリーが持ち味。中国の次期エース候補だ。

BWF世界ランキング
（9月1日現在）

1位 ◉ 髙橋礼華／松友美佐紀（日本）
2位 ◉ 於洋／唐淵淳（中国）
3位 ◉ 趙蕓蕾／田卿（中国）
4位 ◉ ポリー／マヘスワリ（インドネシア）
5位 ◉ 鄭景銀／申昇瓚（韓国）
6位 ◉ リター・ユール／ペダセン（デンマーク）
7位 ◉ 駱贏／駱羽（中国）
8位 ◉ 福万尚子／與猶くるみ（日本）
9位 ◉ 張藝娜／李紹希（韓国）
10位 ◉ 松尾静香／内藤真実（日本）
11位 ◉ ムスケン／ビーク（オランダ）
12位 ◉ 陳清晨／賈一凡（中国）
13位 ◉ 湯金華／黄雅瓊（中国）
14位 ◉ 高我羅／柳海媛（韓国）
15位 ◉ ウン／フン（マレーシア）







Naoko FUKUMAN & Kurumi YONAO
福万尚子 & 與猶くるみ（日本）

ふくまん・なおこ　よなお・くるみ

福万（右）／1992年3月3日（24歳）157.5cm58kg／右利き
再春館製薬所／大阪府出身／樟蔭東中ー樟蔭東高ーパナソニックールネサス
與猶／1992年12月1日（23歳）／167cm61kg／右利き
再春館製薬所／愛知県出身／刈谷東中ー岡崎城西高ーパナソニックールネサス

◉主な成績
'16インドオープン準優勝
'16アジア選手権準優勝
'15世界選手権3位
'14全日本総合優勝

◉PICK UP!
世界ランクでも上位に入る実力ペア。福万が堅実なレシーブでラリーの主導権を握り、與猶の鋭いスマッシュを導く。今年の春先は好結果を残しており、これからの活躍に期待が高まる。

Shizuka MATSUO & Mami NAITO
松尾静香 & 内藤真実（日本）

まつお・しずか　ないとう・まみ

松尾（右）／1986年11月24日（29歳）／157cm51kg／右利き
NTT東日本／大阪府出身／瓜破西中ー此花学院高ーパナソニック
内藤／1986年12年25日（29歳）／172cm67kg／左利き
ヨネックス／神奈川県出身／串川中ー元石川高ー日本体育大ーパナソニック

◉主な成績
'16マレーシアオープン4強
'16スイスオープングランプリゴールド優勝
'14フランスオープン4強
'12ヨネックスオープンジャパン準優勝

◉PICK UP!
抜群のテクニックを誇る前衛の松尾がラリーを作り、内藤が豪快なアタックで相手の守備を崩壊させる。4年前のヨネックスオープンジャパンでは準優勝の経験がある。



Eefje MUSKENS & Selena PIEK
エーフィア・ムスケン&セレナ・ビーク（オランダ）

ムスケン（手前）／1989年6月17日（27歳）／164cm60kg／右利き
ビーク／1991年9月30日（24歳）／166cm59kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪8強
'16インドネシアオープン4強
'16欧州選手権準優勝
'16シドモディ国際グランプリゴールド準優勝

◉PICK UP!
リオ五輪では予選リーグを抜けて準々決勝に進出。手堅いレシーブを軸にラリーを構築し、チャンスでは一気にスピードを上げて主導権をつかむ。ビークは混合ダブルスにも出場する。

◉スーパーシリーズ優勝者
SUPER SERIES WINNER
（15年9月～16年6月）

■2015年
第8戦（9月）韓国オープン◉包宜鑫／唐淵淳（中国）
第9戦（10月）デンマークオープン◉ポリー／マヘスワリ（インドネシア）
第10戦（10月）フランスオープン◉鄺景銀／申昇瓚（韓国）
第11戦（11月）中国オープン◉於洋／唐淵淳（中国）
第12戦（11月）ホンコンチャイナオープン◉趙蕾蕾／田卿（中国）
SSF（12月）スーパーシリーズファイナル◉駱贏／駱羽（中国）

■2016年
第1戦（3月）全英選手権◉高橋礼華／松友美佐紀（日本）
第2戦（3月）インドオープン◉高橋礼華／松友美佐紀（日本）
第3戦（4月）マレーシアオープン◉於洋／唐淵淳（中国）
第4戦（4月）シンガポールオープン◉ ポリー／マヘスワリ（インドネシア）
第5戦（5月）インドネシアオープン◉ 高橋礼華／松友美佐紀（日本）
第6戦（6月）オーストラリアオープン◉包宜鑫／陳清晨（中国）

◉女子ダブルス展望　PREVIEW

高橋&松友の凱旋試合 2年ぶりのVに視界良好

真夏の８月、深夜にも関わらず高橋礼華／松友美佐紀の金メダル獲得に、日本列島が熱狂したのは記憶に新しい。日本バドミントン史上初の金メダルは、勇敢で可憐な２人によってもたらされた。今大会は、そんな金メダリストの凱旋試合となる。

日本から誕生したゴールドメダリスト。その飛躍のきっかけの一つは、14年ヨネックスオープンジャパンだろう。当時日本のエースとして順調な成長を見せていた２人は、ファンの前で初めてスーパーシリーズ制覇を成し遂げる。そこからの活躍は目覚ましく、スーパーシリーズで２度の決勝進出を果たし、年末のスーパーシリーズファイナルでは頂点に輝いた。15年は世界ランク１位の座を堅守し、日本のエースはいつしか海外のライバルから追われる存在に。そして、そのプレッシャーを押しのけた先に、2人の、日本の悲願が待っていた。

本大会は、高橋／松友にとって日本のファンの前で試合ができる数少ない大会の一つでもある。当然、優勝への期待は大きくなるが、芯の強いタカマツは、きっとその重圧を乗り越えてくるだろう。

日本のエースに挑むのが、同じく五輪決勝を争ったリター・ユール／ペダセンだ。日本にとっての歓喜は、デンマークにとっては悲痛の瞬間だった。その借りを返すのに絶好の機会となるのが、今回の舞台。強力アタックを武器に戦うデンマークペアと高橋／松友が、五輪決勝の再戦を演じる可能性も十分ありえる。

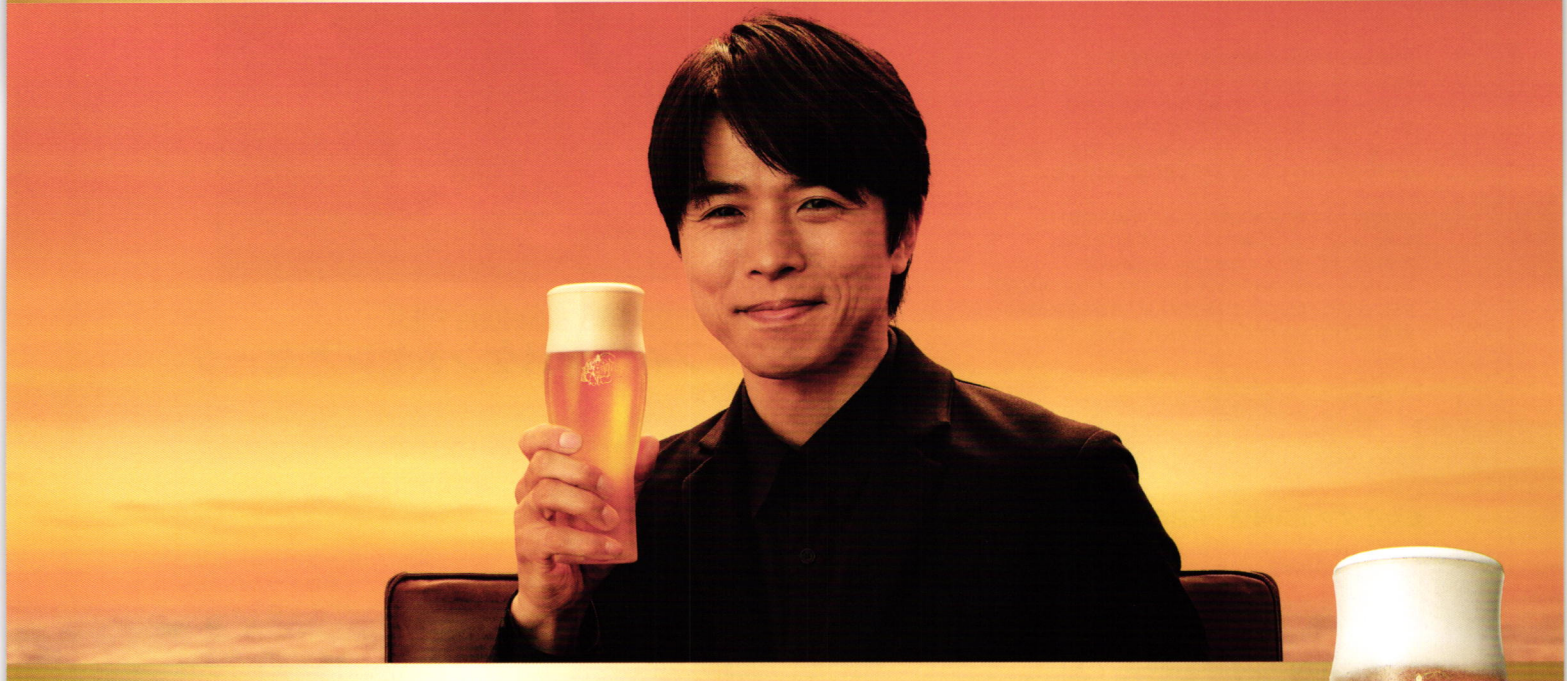
このほかに上位戦線を賑わすのが、中国の駱贏（ルオイン）／駱羽（ルオユー）。リオ五輪には先輩ペアに代わって出場を果たしたが、あえなく予選リーグで敗退。使命を果たせなかった２人にとっては、屈辱の五輪となった。中国の復権を果たすには、ここできっちりタイトルをつかんでおきたいところだ。

このほか、オランダのムスケン／ビークや、マレーシアのフン／ウンなど、五輪出場ペアも参戦し上位をねらう。日本からは福万尚子／與猶くるみ、松尾静香／内藤真実ら、世界ランクでも上位につける２組がスーパーシリーズ初制覇に挑戦。国際大会での優勝経験のある福島由紀／廣田彩花なども、期待の若手として世界の強豪にチャレンジする。

乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO



いま、ヱビスの最高峰にいます。



Premium
YEBISU
MEISTER
匠の逸品
〈エビス マイスター〉



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

www.sapporobeer.jp　サッポロビール株式会社

サポートのプロ集団がスポーツイベントを成功させる







安心も、快適も、感動も。

株式会社 協栄

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2−13−9

TEL 03-3666-3251（代表）

MIXED DOUBLES
混合ダブルス



Prove your combination
コンビカの証明

男女が同じコートでプレーする混合ダブルス。
男子の運動量、女子のレシーブなど見所が満載だ!

KO Sung Hyun & KIM Ha Na
高成炫 & 金荷娜（韓国）
コー・スンヒュン　キム・ハナ

高（左）／1987年5月21日（29歳）／182cm85kg／右利き
金／1989年12月27日（26歳）／172cm55kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪8強
'16シンガポールオープン優勝
'15デンマークオープン優勝
'15フランスオープン優勝
'15スーパーシリーズファイナル準優勝

◉PICK UP!
ネット前では高い打点でシャトルを巧みにさばく金荷娜と、爆発力のあるスマッシュを打ち込む高成炫。スーパーシリーズでも安定した結果を残す、世界屈指のペアだ。

◉混合ダブルス展望　PREVIEW

世界トップランカーが続々参戦!
ハイレベルなラリーを見逃すな!

男子選手が縦横無尽にコートを駆けるカバー力と、妥協を許さない連続スマッシュ。そして女子選手のねばり強いレシーブと、ネット前へ果敢に飛び込む勇気。混合ダブルスは、男女それぞれに与えられた役割と責任を果たしたペアこそが、栄光を手にすることができる。

男女ダブルスとはひと味違った魅力がある“ミックス”に、今回も世界トップランカーが多数参戦する。なかでも強い輝きを放つのが、リオ五輪で銀メダルをつかんだマレーシアのチャン／ゴーだ。4年前に日本の地でスーパーシリーズ初優勝を飾った2人は、オリンピックという舞台で高い潜在能力を発揮し、決勝まで勝ち上がった。敗れはしたが、母国にミックス初のメダルをもたらしたことは、大きな誇りと自信になったはず。当然、4年ぶりのV奪還をねらってくる。

優勝争いを盛り上げるのは、世界ランク2位で韓国1番手の高成炫（コースンヒョン）／金荷娜（キムハナ）、同5位で16年全英選手権優勝のジョーダン／スサントだ。ともに男子選手が強打を連発し、女子選手が前衛で鋭い攻撃を仕掛けるスタイル。パワフルな男子が力で押し込むラリーは迫力満点だ。

欧州からは前回大会の覇者、デンマークのニールセン／ペダセンと、リオ五輪にも出場したC・アドコック／G・アドコック（イングランド）が頂点をねらう。こちらは、メンタルの強い女子選手が男子選手の手綱を握り、チャンスとみるや積極的に前に出てプレッシャーをかけるのが特徴。国柄やペアの個性によって戦術の違いが出てくるため、勝敗以上にラリーの内容が楽しめるのも、混合ダブルスの魅力の一つといえる。

日本からは、リオ五輪で日本初のベスト8入りを果たした数野健太／栗原文音が、上位進出に照準を合わせる。「ペアの期間は短いけど、成長した姿を見せたい」（栗原）と話しており、“イケシオ”こと池田信太郎／潮田玲子から受け継ぐミックス魂を燃やして、同種目の盛り上げに一役買いたいところだ。



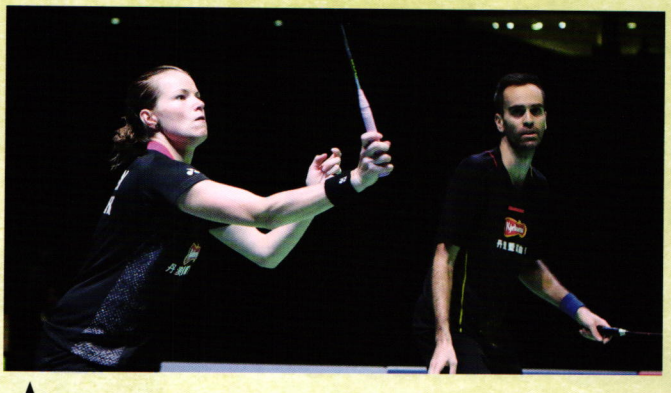


CHAN Peng Soon & GOH Liu Ying
チャン・ペンスン & ゴー・リューイン
（マレーシア）

チャン（右）／1988年4月27日（28歳）／175cm68kg／右利き
ゴー／1989年5月30日（27歳）／166cm56kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪銀メダル
'16マレーシアオープン準優勝
'15ロシアオープングランプリゴールド優勝
'15メキシコグランプリ優勝
'12ヨネックスオープンジャパン優勝

◉PICK UP!
リオ五輪では台風の目として勝ち上がり、見事銀メダルを獲得！　スピーディーな攻撃と堅実なプレーで相手にプレッシャーをかける。２人は12年ヨネックスオープンジャパンの覇者でもある。



Praveen JORDAN & Debby SUSANTO
パラフィーン・ジョーダン &デビー・スサント（インドネシア）

ジョーダン（左）／1993年4月26日（23歳）／183cm88kg／右利き
スサント／1989年5月3日（27歳）／161cm51kg／右利き

◉主な成績
'16リオ五輪8強
'16全英選手権優勝
'16オーストラリアオープン4強
'15スーパーシリーズファイナル4強

◉PICK UP!
今年の全英選手権でスーパーシリーズ初優勝を飾った。ジョーダンの破壊力ある攻撃で相手を崩し、前衛で待つスサントの鋭い攻撃につなげる。インドネシアの次期エース候補！



Joachim FISCHER NIELSEN & Christinna PEDERSEN
ヨアキム・フィッシャー・ニールセン & クリスティナ・ペダセン
（デンマーク）

ニールセン（右）／1978年11月23日（37歳）／188cm78kg／左利き
ペダセン／1986年5月12日（30歳）／178cm68kg／右利き

◉主な成績
'16全英選手権準優勝
'16欧州選手権優勝
'15ヨネックスオープンジャパン優勝
'12ロンドン五輪銅メダル

◉PICK UP!
前回大会の優勝ペア。前衛のペダセンが果敢にネット前に入り主導権をつかむと、ニールセンが情熱的なアタックを相手コートに叩き込む。勝利後のニールセンのパフォーマンスにも注目！

Kenta KAZUNO & Ayane KURIHARA
数野健太 & 栗原文音（日本）

かずの・けんた　　くりはら・あやね

数野（左）／1985年11月25日（30歳）／171cm68kg／右利き
日本ユニシス／滋賀県出身／日吉中―比叡山高―日本大
栗原／1989年9月27日（26歳）／173cm61kg／右利き
日本ユニシス／福岡県出身／中央中―九州国際大付高

◉主な成績
'16リオ五輪8強
'16シンガポールオープン8強
'16シド・モディ国際グランプリゴールド4強
'15ホンコンチャイナオープン8強

◉PICK UP!
ペア結成わずか１年でリオ五輪出場権を獲得。本番でも予選リーグを突破して見事ベスト８の成績を残した。まだまだ伸び代を感じさせる２人のプレーには注目！

BWF世界ランキング
（9月1日現在）

1位 ◉ 張楠／趙蕓蓉（中国）
2位 ◉ 高成炫／金荷娜（韓国）
3位 ◉ アマド／ナッチル（インドネシア）
4位 ◉ ニールセン／ペダセン（デンマーク）
5位 ◉ ジョーダン／スサント（インドネシア）
6位 ◉ 徐晨／馬晋（中国）
7位 ◉ C・アドコック／G・アドコック（イングランド）
8位 ◉ 劉成／包宜鑫（中国）
9位 ◉ 魯愷／黄雅瓊（中国）
10位 ◉ 申白喆／蔡侑玎（韓国）
11位 ◉ チャン／ゴー（マレーシア）
12位 ◉ 催率圭／嚴惠媛（韓国）
13位 ◉ マシュアック／ジエバ（ポーランド）
14位 ◉ 数野健太／栗原文音（日本）
15位 ◉ イサラ／アミトラパイ（タイ）

◉スーパーシリーズ優勝者

SUPER SERIES WINNER
（15年9月～16年6月）

■2015年
第8戦（9月）韓国オープン◉ 張楠／趙蕓蓉（中国）
第9戦（10月）デンマークオープン◉高成炫／金荷娜（韓国）
第10戦（10月）フランスオープン◉ 高成炫／金荷娜（韓国）
第11戦（11月）中国オープン◉ 張楠／趙蕓蓉（中国）
第12戦（11月）ホンコンチャイナオープン◉ 張楠／趙蕓蓉（中国）
SSF（12月）
スーパーシリーズファイナル◉ C・アドコック／G・アドコック（イングランド）

■2016年
第第1戦（3月）全英選手権◉ジョーダン／スサント（インドネシア）
第2戦（3月）インドオープン◉魯愷／黄雅瓊（中国）
第3戦（4月）マレーシアオープン◉ アマド／ナッチル（インドネシア）
第4戦（4月）シンガポールオープン◉ 高成炫／金荷娜（韓国）
第5戦（5月）インドネシアオープン◉ 徐晨／馬晋（中国）
第6戦（6月）オーストラリアオープン◉魯愷／黄雅瓊（中国）

バドミントンプレーヤーと共に創造するプロショップ!!

信頼と実績でお届けします

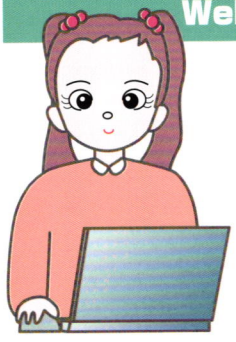


日本バドミントン専門店会加盟店

全国総店舗数104店舗、当加盟店はバドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。
個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまで日本バドミントン専門店会はお手伝いさせて頂きます。

ご注文は最寄りの加盟店・Webショップで!!

Webショップで、ご注文



http://www.badminton-psu.com

上記にアクセスして頂きカタログ又はホームページから商品をお選びください。

日本バドミントン専門店株式会社は社名をラケットクリエイティブ株式会社通称 **ラ・ク・リ** に変更しました。ネットショップでは各種メーカーラクリオリジナル商品や限定品を加盟店の協力でアウトレット商品・廃盤品等のお買い得商品を常時掲載しております!! 又、新製品の情報・販売も素早く対応しておりますので来店をお待ちしております。

携帯でも注文が出来ます

携帯へURLをメールで送る
QRコードで簡単にアクセス
できます。

FAXで、ご注文

カタログ又はホームページから商品を選んで頂き
FAX専用発注書に必要事項をご記入下さい。



最寄りの加盟店、又はラクリ迄
FAXして下さい。

FAX番号
0774-32-1041

お電話でのご注文



お気軽に最寄りの加盟店迄、
お問い合わせ下さい。



RA·CRE
ラケットクリエイティブ株式会社

北海道ブロック

ラケットショップスガワラ	TEL.011-271-3855 FAX.011-290-1668
スポーツプラス	TEL.0155-23-9193 FAX.0155-23-9194
イトースポーツ	TEL.0166-32-1788 FAX.0166-34-8898
クラウン商会	TEL.0143-43-1006 FAX.0143-45-4858

東北ブロック

ラケットショップ ササキ	TEL.0178-45-0028 FAX.0178-45-0180
プロショップ アオモリ	TEL.017-777-0239 FAX.017-777-0243
ラケットハウス OISPO	TEL.0197-25-8823 FAX.0197-25-8864
ラケットショップ 広瀬	TEL.022-265-0778 FAX.022-262-6103
ラケットショップ 広瀬 泉店	TEL & FAX.022-375-2255
ラケットショップ広瀬 盛岡店	TEL.019-638-1161 FAX.019-637-6170
ラケットショップ 山形	TEL.023-643-6238 FAX.023-643-6267
リトルビル	TEL.024-934-5642 FAX.024-934-5740
千秋スポーツ	TEL.018-883-1151 FAX.018-883-1153

関東ブロック

ラケットショップ SWING	TEL & FAX.029-824-0097
ラケットショップ キャビン大宮店	TEL.048-643-5865 FAX.048-645-2295
ラケットショップ キャビン柏店	TEL.04-7166-7756 FAX.04-7164-5489
ラケットハウスグリップ	TEL & FAX.048-644-3115
ビークスポーツ千葉店	TEL & FAX.043-253-1103
ビークスポーツ錦糸店	TEL & FAX.03-6456-1152
ウエンブレー学芸大学本店	TEL.03-3716-2626 FAX.03-3719-3377
ウエンブレー新宿店	TEL.03-5366-6555 FAX.03-5366-6566
ウエンブレー渋谷店	TEL.03-3409-6622 FAX.03-3498-2829
ウエンブレー池袋店	TEL.03-5952-7070 FAX.03-5952-6677
ウエンブレー秋葉原店	TEL.03-3258-2626 FAX.03-3258-2255
ウエンブレー横浜店	TEL.045-317-5959 FAX.045-317-5958
ウエンブレー藤沢店	TEL.0466-26-7272 FAX.0466-26-7559
ウエンブレー新百合ケ丘店	TEL.044-965-4411 FAX.044-965-4224
ウエンブレーセンター北店	TEL.045-910-1171 FAX.045-910-1181
ウエンブレー西船橋店	TEL.047-404-4949 FAX.047-404-4020
ミノヤスポーツ	TEL.03-3652-1505 FAX.03-3652-1506
RBTイチムラ	TEL.03-3683-2963 FAX.03-5609-2963
ラケットショップフジ国分寺店	TEL.042-322-5626 FAX.042-324-9555
ラケットショップフジ吉祥寺店	TEL.0422-22-8844 FAX.0422-21-4617
ラケットショップフジ所沢店	TEL & FAX.042-928-0288
ラケットショップフジ町田店	TEL.042-723-9555 FAX.042-723-8268
ラケットショップフジ八王子店	TEL & FAX.0426-23-5191
ラケットショップフジ川崎店	TEL.044-541-9555 FAX.044-541-9558
ラケットショップフジ静岡店	TEL & FAX.0559-29-9666
ラケットショップフジ川越店	TEL & FAX.049-223-7444
ラケットショップフジ立川店	TEL & FAX.042-527-9554
ラケットショップフジ赤羽店	TEL & FAX.03-3900-9554
ラケットショップフジ海老名店	TEL & FAX.046-234-9444
ラケットショップフジ橋本店	TEL & FAX.042-700-9554
ラケットショップフジ井土ケ谷店	TEL.045-325-9551 FAX.045-325-9570
ラケットショップフジ市が尾店	TEL.045-482-9510 FAX.045-482-9509
ハローダックスポーツ	
ファミリースポーツ足利店	TEL & FAX.0284-72-7024
ファミリースポーツ太田店	TEL & FAX.0276-22-3822
ファミリースポーツ館林店	TEL & FAX.0276-75-0543
ファミリースポーツ小山店	TEL & FAX.0285-25-5586
ラケットショップ ミッキー	TEL.027-243-4267 FAX.027-221-7660
ラケットショップRaToBa	TEL.055-287-8988 FAX.055-287-8987
B-WAY甲府店	TEL.055-288-8283 FAX.055-288-8284

北信越ブロック

プロショップサイトウスポーツ	TEL.025-223-1959 FAX.025-224-1282
ラケットショップ 富山	TEL & FAX.076-493-2311
スポーツショップ マツダ	TEL.076-278-2848 FAX.076-278-2356
〈株〉かぶとやスポーツ	TEL.0767-52-1182 FAX:0767-53-0310
フレンドスポーツ商会	TEL.0776-25-3385 FAX.0776-22-2995
スポーツコバヤシ	TEL.0770-22-0204 FAX.0770-22-7355
マスタカスポーツ 佐久平店	TEL.0267-66-7070 FAX.0267-66-7071
スポーツショップ日新	TEL.026-245-0272 FAX.026-245-2559

四国ブロック

イッキスポーツ	TEL & FAX.088-654-0353
プレイヤーズクラブ	TEL.087-835-2033 FAX.087-835-2045
ラケットショップハマナカ松山店	TEL.089-933-2366 FAX.089-932-2241
ラケットショップハマナカ新居浜店	TEL.0897-34-9191 FAX.0897-64-9994
スポーツショップフットワーク	TEL.088-832-8939 FAX.088-832-8940
(有)シノハラスポーツ	TEL.0875-24-1503 FAX.0875-24-1677

九州ブロック

スポーツ あいしん	TEL.090-3417-2162FAX.092-328-3305
運 動 具 屋	TEL.093-452-0111 FAX.093-452-0112
SSSスリーエス	TEL & FAX.092-671-1124
体育堂ラケットワークスWaiWai	TEL & FAX.096-326-8132
スポーツショップバード	TEL & FAX.099-226-8778
ラケットショッププロエース鹿児島本店	TEL & FAX.099-226-6362
ラケットショッププロエース福岡店	TEL & FAX.092-852-7250
ラケットショッププロエース長崎店	TEL & FAX.095-832-8069
グリーンスポーツ	TEL.0956-31-0373 FAX.0956-31-7288
片岡スポーツ	TEL.0957-54-3725 FAX.0957-53-6254
スポーツショップコジコジ	TEL.0954-20-7191 FAX.0954-20-7192

東海ブロック

ラケットショップ ノナカ	TEL.052-741-3757 FAX.052-741-3901
オノダスポーツ	TEL.0544-26-3644 FAX.0544-26-0045
エバーラケット株式会社伊勢店	TEL.0596-29-0600 FAX.0596-65-6695
エバーラケット株式会社津店	TEL & FAX.059-253-7150
バドミントンショップ山田研究所	TEL.059-361-7720 FAX.059-361-7721

近畿ブロック

プロショップシャトル	TEL & FAX.077-568-0585
ラケットショップイチムラ大津	TEL & FAX.077-521-1964
B-WAY太秦店	TEL.075-882-2799 FAX.075-882-2988
B-WAY宇治店	TEL.0774-21-5850 FAX.0774-21-6087
B-WAY長岡京店	TEL.075-951-9955 FAX.075-951-9966
B-WAY桃山店	TEL.075-644-9511 FAX.075-644-9544
B-WAY弁天町店	TEL.06-6599-2000 FAX.06-6599-2001
B-WAY阿倍野店	TEL.06-6622-6006 FAX.06-6622-9009
ラケットショップイチムラ	TEL.075-841-6018 FAX.075-811-1953
サンメイトスポーツ株式会社	TEL.072-286-6668 FAX.072-286-6667
ワンステップスポーツ	TEL & FAX.0744-47-3395

中国ブロック

フタバスポーツ	TEL.0859-44-5171 FAX.0859-44-4852
ラケットショップFUTABA米子店	TEL.0859-38-5171 FAX.0859-38-4852
ラケットショップ ほしの	TEL & FAX.0852-28-5454
トッププロスポーツ岡山店	TEL.086-254-3419 FAX.086-254-3491
トッププロスポーツ西大寺店	TEL & FAX.086-943-9002
杉山スポーツ	TEL.082-263-3939 FAX.082-262-0790
ムネスエスポーツ	TEL.0833-41-0273 FAX.0833-44-2256
スポーツニシヒロ己斐店	TEL.082-271-7211 FAX.082-271-0888
カザハヤスポーツポテト館	TEL.0866-92-7100 FAX.0866-92-7050
(有)アリモトスポーツ	TEL.0868-23-8858 FAX.0868-23-0139

いざTOKYOへ! 期待の新星

Promising young generation

歓喜のリオ五輪から一カ月、
日本は次なる戦いに向けてスタートを踏み出した。
ここでは、4年後の東京五輪をめざす
期待の若手を紹介!
新たな時代を切り開く選手に注目だ!



大堀 彩

おおほり・あや
Aya OHORI

1996年10月2日(19歳)／169cm58kg／左利き／
トナミ運輸／福島県出身／富岡第一中ー富岡高ーNTT東日本

◉主な成績
'16ニュージーランドオープングランプリゴールド準優勝
'15全日本総合8強
'14日本ランキングサーキット優勝
'14世界ジュニア銅メダル
'13アジアジュニア優勝





東野有紗

ひがしの・ありさ
Arisa HIGASHINO

1996年8月1日(20歳)
160kg54kg／右利き
日本ユニシス／北海道出身
富岡第一中ー富岡高

◉主な成績
'16ベトナムインターナショナル混合ダブルス優勝、'15'16日本ランキングサーキット混合ダブルス優勝、'16中国マスターズグランプリゴールド混合ダブルス4強、'15全日本総合混合ダブルス4強、'14世界ジュニア混合ダブルス銅メダル※ペアは渡辺



三橋健也

みつはし・けんや
Kenya MITSUHASHI

1997年7月11日(19歳)
171cm71kg／右利き
日本大／群馬県出身
富岡第一中ー富岡高

◉主な成績
'16日本ランキングサーキット男子ダブルス優勝、'16ベトナムインターナショナル男子ダブルス準優勝、'15全日本総合男子ダブルス8強、'15世界ジュニア男子ダブルス銅メダル
※ペアは渡辺

渡辺勇大

わたなべ・ゆうた
Yuta WATANABE

1997年6月13日(19歳)／166cm55kg／左利き
日本ユニシス／東京都出身／富岡第一中ー富岡高

◉主な成績
'16ベトナムインターナショナル男子ダブルス準優勝、混合ダブルス優勝、'16日本ランキングサーキット男子・混合ダブルス優勝、'16中国マスターズグランプリゴールド混合ダブルス4強、'15全日本総合混合ダブルス4強、'15世界ジュニア男子ダブルス銅メダル
※男子のペアは三橋、混合は東野

「TOKYO」をめざす新たな世代

すでに世界の最前線で活躍している19歳の山口茜を筆頭に、４年後に照準を定める日本のヤングジェネレーションは世界でも輝き始めている。男子では今春、富岡高校から日本ユニシスに進んだ渡辺勇大と、日本大に進学した三橋健也に注目だ。

高校１年からペアを組む２人は、インターハイや高校選抜など、高校個人タイトルを総ナメしており、昨年は世界ジュニアで銅メダルを獲得した実力ペア。その年の日本一を決める全日本総合では、準々決勝で世界選手権３位の早川賢一／遠藤大由にファイナルゲームまで競り合うなど、高校生離れしたアグレッシブなアタックを披露した。卒業後はそれぞれの道でレベルアップを図りながら、４年後に向けて走りだしている。お互いのチーム事情はあるものの、国際大会ではペアを組んで出場しており、連系に心配はなさそう。本大会でも、トップランカーを相手に全力でぶつかっていくだろう。

女子では、今年ユーバー杯代表を務めた大堀彩の名前が挙がる。170cm近い身長とサウスポーの利点を生かした攻撃は、年々進化を遂げている。社会人になった当初は粗削りな面も目立ったが、昨秋からパフォーマンスが向上。世界トップで活躍する奥原希望、山口に迫る勢いの成長を見せている。スーパーシリーズでの結果はまだ残していないが、今回はホームの利を生かして上位進出を果たしたいところだ。

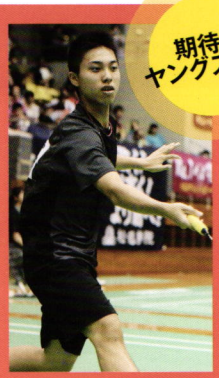
その大堀と同学年の東野有紗も、成長株の一人。とくに渡辺勇大との混合ダブルスは、国内大会やランクの低い国際大会ですでに優勝を飾っており、大きな可能性を感じさせるものがある。４年という時間をかければ、世界のトップに近づくことも十分に考えられる。新たな可能性に向かって、今大会でも勝利をつかみとりたい。

奈良岡功大

ならおか・こうだい
Kodai NARAOKA

期待のヤングスター!

2001年6月30日(15歳)
171cm／右利き／
浪岡中3年／青森県出身
浪岡ジュニア



◉主な成績
'11'12'13全国小学生シングルス優勝、'14~'16全国中学校シングルス優勝、'15アジアジュニアU15シングルス優勝、'15全日本ジュニアシングルス準優勝

◉PICK UP!
今年の全国中学校大会で史上初の個人シングルス３連覇を遂げたスーパー中学生。これからの活躍に注目が集まる期待の新星だ!

GO TO TOKYO 2020



400年の歴史を有する1万坪のホテルニューオータニ(東京)の日本庭園

《グループホテル》

東京 / 幕張 / 大阪

札幌 / 長岡 / 湯沢(湯沢・NASPA) / 東京(大崎) / 横浜 / 高岡 / 鳥取 / 博多 / 佐賀 / 熊本 / ホノルル / 北京

《アソシエイトホテル》

新潟 / 浜松 / 金沢 / 近江八幡

ニューオータニホテルズのご予約・お問合せ(9:00~18:00)

0120-227021

The New Otani

ニューオータニホテルズ

www.newotani.co.jp

スポーツ。水。アミノ酸。

「運動中に水を飲むな」。つい二十年ほど前まで、当然のように行われていた指導法です。しかし今では、こまめに水分を摂るのが常識。スポーツは科学的見地から語られるようになったのです。さて、水分補給については大勢が知るところとなった。だがまだ、大事な補給がされずにいる。アミノ酸です。運動中の肉体は、想像以上に酷使されている。最高のパフォーマンスを発揮するためには、筋肉中のタンパク質をすばやく補う必要がある。アミノ酸は、そのタンパク質をつくる唯一の栄養素なのです。そう、必要なのは水だけではない。水といっしょにアミノ酸が不可欠。これは宣伝文句でもなんでもありません。スポーツ栄養科学が明らかにした事実でしかない。気づいている人は、当たり前に飲んでいます。アミノ酸で、あなたのスポーツが大きく変わる。合言葉は「スポーツ。水。アミノ酸。」です。

amino VITAL® アミノバイタル®

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

株式会社エムアイジェイ
旅行業免許：東京都知事登録旅行業第3-6527号
東京都中野区野方5-28-4-202
電話：03-5364-9500　FAX：03-5364-9556
Eメール：info@mij18.com
http://www.mij18.com/

エムアイジェイ

◆イベントに関わる旅行手配

国際・国内各種イベントに関わる総合手配・事務代行を致します。
ホテル手配・空港送迎・シャトルバスの運行、
海外選手招聘に際しての招聘状作成代行等、
多岐にわたりイベント運営のお手伝いを致します。

◆訪日外国人への国内旅行手配（インバウンド）

訪日外国人旅行客（一般観光客・ビジネス旅行客・報奨旅行客・インセンティブ等）へ、
日本ならではの、きめ細やかなサービスを提供し、
この美しく素晴らしい日本に来日された皆様へ最高のおもてなしを提供します。

◆国内旅行

各種チケット手配、ホテル・旅館手配、観光バス手配
社員旅行やグループ旅行のお手配を承ります。

Sweet chalk art

◆お店の看板つくります！

Sign art（チョークアート看板）、インテリアチョークアートを
オーダーに合わせて制作いたします。

◆チョークアートをはじめたい！

体験教室から本格レッスンまで。
チョークアートに興味がある方、一度やってみたいなぁという方から
本格的に取り組みたい方まで対応。
高円寺校にて好評開催中！

詳しくは
http://www.chalk-art.com/



List Of Competitors ◉出場予定選手

MEN ←→ 男子

AUSTRALIA ◉ オーストラリア

David OBERNOSTERER	ダーヴィッド・オベルノステラー	MS, XD

CHINA ◉ 中国

TIAN Houwei	ティアン・ホーウェイ	田厚威	MS
QIAO Bin	キャオ・ビン	喬斌	MS
SHI Yuqi	シー・ユーチー	石宇奇	MS
HUANG Yuxiang	ファン・ユーシャン	黄祥	MS
XUE Song	シュエ・ソン	薛松	MS
CHAI Biao	チャイ・ビャオ	柴鑣	MD
HONG Wei	ホン・ウェイ	洪煒	MD
LIU Yuchen	リウ・ユチェン	劉雨辰	MD, XD
LI Junhui	リー・ジュンホウイ	李俊慧	MD
LU Kai	ルー・カイ	魯愷	MD, XD
LIU Xiaolong	リュウ・シャオロン	劉小龍	MD
WANG Yilyu	ワン・イルユ	王懿律	MD
HUANG Kaixiang	ファン・カイシャン	黄凱祥	MD, XD
LIU Cheng	リュウ・チェン	劉成	MD
ZHENG Siwei	ジェン・シーウェイ	鄭思維	MD, XD

DENMARK ◉ デンマーク

Viktor AXELSEN	ビクター・アクセルセン	MS
Jan O. JORGENSEN	ヤン・ウ・ヨルゲンセン	MS
Hans-Kristian VITTINGHUS	ハンス・クリスチャン・ヴィッティンフス	MS
Emil HOLST	エミル・ホルスト	MS
Anders ANTONSEN	アンダース・アントンセン	MS
Mathias BOE	マシアス・ボー	MD
Carsten MOGENSEN	カールステン・モゲンセン	MD
Mads Pieler KOLDING	マッズ・ピーラー・コールディング	MD
Mads CONRAD-PETERSEN	マッズ・コンラド・ピーターセン	MD
Kim ASTRUP	キム・アストルプ	MD, XD
Anders Skaarup RASMUSSEN	アンダース・スカールプ・ラスムセン	MD, XD
Mathias CHRISTIANSEN	マシアス・クリスチャンセン	MD, XD
David DAUGAARD	デーヴィッド・ドハード	MD
Joachim FISCHER NIELSEN	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン	XD
Soren GRAVHOLT	ソレン・グラヴホルト	XD

ENGLAND ◉ イングランド

Vincent Hin Shun WONG	ヴィンセント・ヒンシュン・ウォン	MS
Peter BRIGGS	ピーター・ブリッグス	MD
Tom WOLFENDEN	トム・ウォルフェンデン	MD
Peter MILLS	ピーター・ミルズ	MD
Harley TOWLER	ハーレー・タウラー	MD
Matthew NOTTINGHAM	マシュー・ノッティングハム	MD, XD
Sean VENDY	ショーン・ヴェンディー	MD
Ben LANE	ベン・レーン	MD, XD
Chris ADCOCK	クリス・アドコック	XD

FRANCE ◉ フランス

Brice LEVERDEZ	ブリース・レヴェルデズ	MS

GERMANY ◉ ドイツ

Mark ZWIEBLER	マーク・ツィーブラー	MS
Mark LAMSFUSS	マーク・ラムスフス	MD, XD
Marvin Emil SEIDEL	マーヴィン・エミル・シーデル	MD, XD

HONG KONG ◉ ホンコンチャイナ

HU Yun	フー・ユン	胡賞	MS
NG Ka Long	ン・カロン	伍家朗	MS
WEI Nan	ウェイ・ナン	魏楠	MS
WONG Wing Ki Vincent	ワン・ウィンキ・ヴィンセント	黃永祺	MS
LEE Chun Hei Reginald	リー・チュンヘ・レギナルド	李晉熙	XD

INDIA ◉ インド

Srikanth KIDAMBI	スリカンス・キダンビ	MS
Ajay JAYARAM	アジャイ・ジャヤラム	MS
Prannoy H. S.	プラノイ・H. S.	MS
Sai Praneeth B.	サイ・プラニース・B	MS
Kashyap PARUPALLI	カシャプ・パルパリ	MS

INDONESIA ◉ インドネシア

Tommy SUGIARTO	トミー・スギアルト	MS
Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	MS
Hendra SETIAWAN	ヘンドラ・セティアワン	MD
Mohammad AHSAN	モハマド・アッサン	MD
Paraveen JORDAN	パラフィーン・ジョーダン	XD

KOREA ◉ 韓国

SON Wan Ho	ソン・ワンホ	孫完虎	MS
LEE Dong Keun	イ・ドンクン	李東根	MS
JEON Hyeok Jin	ジョン・ヒョクジン	全奕鎭	MS
LEE Hyun I	イ・ヒョンイル	李炫一	MS
HEO Kwang Hee	ホ・クワンヒ	許侊熙	MS
KO Sung Hyun	コー・スンヒュン	高成炫	MD, XD
KIM Gi Jung	キム・ギジュン	金基正	MD, XD
CHUNG Eui Seok	チュン・イソク	鄭義錫	MD, XD
KIM Duck Young	キム・ドギョン	金德永	MD, XD

MALAYSIA ◉ マレーシア

LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	MS
ZAINUDDIN Iskandar Zulkarnain	ザイヌディン・イスカンダル・ズルカルナイン	MS
ZULKIFFLI Zulfadli	ズルファドリ・ズルキップリ	MS
GOH Soon Huat	ゴー・スンファット	MS
TAN Wee Kiong	タン・ウィーキョン	MD
GOH V Shem	ゴー・V シェム	MD
CHAN Peng Soon	チャン・ペンスン	XD

MONGOLIA ◉ モンゴル

Gunzorig ENKHJARGAL	グンゾリグ・インフジャルガル	MS

NETHERLAND ◉ オランダ

Jacco ARENDS	ジャッコ・アレンズ	XD

SCOTLAND ◉ スコットランド

Adam HALL	アダム・ホール	MD

THAILAND ◉ タイ

Tanongsak SAENSOMBOONSUK	タノンサック・サエンソンボーンスク	MS
Boonsak PONSANA	ブーンサック・ポンサナ	MS
Khosit PHETPRADAB	コシット・フェトラダブ	MS
Pannawit THONGNUAM	パナウィット・トンナム	MS
Bodin ISARA	ボディン・イサラ	MD, XD
Nipitphon PHUANGPHUAPET	ニピッフォン・ファウングファペット	MD, XD
Puavaranukroh DECHAPOL	プアヴァラヌクロー・デチャポン	MD, XD
Kedren KITTINUPONG	ケドレン・キッティヌポン	MD

CHINESE TAIPEI ◉ チャイニーズ・タイペイ

CHOU Tien Chen	チョウ・ティエンチェン	周天成	MS
HSU Jen Hao	シュー・ジェンハオ	許仁豪	MS
WANG Tzu Wei	ワン・ツーウェイ	王子維	MS
LU Chia Hung	ルー・チャフン	呂家弘	MS
CHEN Hung Ling	チェン・フンリン	陳宏麟	MD
WANG Chi-Lin	ワン・チーリン	王齊麟	MD
LEE Yang	リー・ヤン	李洋	MD
LEE Jhe-Huei	リー・ジェフェイ	李哲輝	MD
LEE Sheng Mu	リー・シェンム	李勝木	MD
WU Hsiao-Lin	ウー・シャオリン	巫孝霖	MD
TSAI Chia Hsin	ツァイ・チャーシン	蔡佳欣	MD
LIN Chia Yu	リン・チャーユ	林家佑	MD
TSENG Min Hao	ツェン・ミンハオ	曾敏豪	MD
LIAO Min Chun	リャオ・ミンチュン	廖敏竣	MD, XD

JAPAN ◉ 日本

Kazumasa SAKAI	坂井　一将	日本ユニシス	MS
Riichi TAKESHITA	武下　利一	トナミ運輸	MS
Takuma UEDA	上田　拓馬	日本ユニシス	MS
Kanta TSUNEYAMA	常山　幹太	トナミ運輸	MS
Yu IGARASHI	五十嵐　優	中央大３年	MS
Hashiru SHIMONO	下農　走	トナミ運輸	MS
Kodai NARAOKA	奈良岡功大	浪岡中3年	MS
Yusuke ONODERA	小野寺裕介	日本ユニシス	MS
Koki WATANABE	渡邊　航貴	埼玉栄高3年	MS
Kenichi HAYAKAWA	早川　賢一	日本ユニシス	MD
Hiroyuki ENDO	遠藤　大由	日本ユニシス	MD
Keigo SONODA	園田　啓悟	トナミ運輸	MD
Takeshi KAMURA	嘉村　健士	トナミ運輸	MD
Takuro HOKI	保木　卓朗	トナミ運輸	MD
Yugo KOBAYASHI	小林　優吾	トナミ運輸	MD, XD
Takuto INOUE	井上　拓斗	日本ユニシス	MD
Yuki KANEKO	金子　祐樹	日本ユニシス	MD, XD
Hiroyuki SAEKI	佐伯　祐行	日本ユニシス	MD
Ryota TAOHATA	垰畑　亮太	日本ユニシス	MD, XD
Yuta WATANABE	渡辺　勇大	日本ユニシス	MD, XD
Kenya MITSUHASHI	三橋　健也	日本大1年	MD
Taiki SHIMADA	島田　大輝	ヨネックス	MD
Yoshinori TAKEUCHI	竹内　義憲	ヨネックス	MD, XD
Kenta KAZUNO	數野　健太	日本ユニシス	XD
Masayuki ONODERA	小野寺雅之	埼玉栄高3年	MS, MD
Kyohei YAMASHITA	山下　恭平	水島工高3年	MS
Yunosuke KUBOTA	久保田友之祐	ふたば未来学園高2年	MD
Mahiro KANEKO	金子　真大	ふたば未来学園高2年	MD
Hiroki OKAMURA	岡村　洋輝	埼玉栄高3年	MD, XD
Naoki YAMAZAWA	山澤　直貴	富岡高3年	XD
Kenta NISHIMOTO	西本　拳太	中央大4年	MS
Yosei YAMAGUCHI	山口　容正	トナミ運輸	MS
Kento HORIUCHI	堀内　研人	日立情報通信エンジニアリング	MS
Ryotaro MARUO	丸尾亮太郎	日立情報通信エンジニアリング	MS
Naohiro MATSUKAWA	松川　直弘	日立情報通信エンジニアリング	MS
Koji NAITO	内藤　浩司	日立情報通信エンジニアリング	MS
Kazushi YAMADA	山田　和司	日本ユニシス	MD
Kenji YONEDA	米田　健司	トリッキーパンダース	MD
Tatsuya WATANABE	渡邊　達哉	トナミ運輸	MD
Kohei GONDO	権藤　公平	トナミ運輸	MD, XD
Tomoya TAKASHINA	高階　知也	トリッキーパンダース	MD, XD
Kazuya ITANI	井谷　和弥	トリッキーパンダース	MD
Kousuke MAKINO	牧野　公亮	JR 北海道	MD
Dai WATANABE	渡部　大	JR 北海道	MD
Yuki YONEMOTO	米元　優樹	宇部興産	XD
Katsunori ITO	伊東　克範	金沢学院クラブ	XD
Daisuke SUZUKI	鈴木　大裕	東北マークス	XD
Hikaru KOMACHIYA	小町谷　輝	AC 長野パルセイロ BC	XD
Naoki ISHIKAWA	石川　直樹	丸杉	XD

WOMEN ←→ 女子

AUSTRALIA ◉ オーストラリア

Elisabeth BALDAUF	エリザベト・バルダウフ	WS, XD

BULGARIA ◉ ブルガリア

Linda ZETCHIRI	リンダ・ゼッチリ	WS
Stefani STOEVA	ステファニ・ストエヴァ	WD
Gabriela STOEVA	ガブリエラ・ストエヴァ	WD

CANADA ◉ カナダ

Michelle LI	ミシェル・リー	WS

CHINA ◉ 中国

SUN Yu	スン・ユ	孫瑜	WS
HE Bingjiao	ヘ・ビンジャオ	何冰嬌	WS
CHEN Yu Fei	チェン・ユーフェイ	陳雨菲	WS
LUO Yu	ルオ・ユー	駱羽	WD
LUO Ying	ルオ・イン	駱瀛	WD
TANG Jinhua	タン・ジンファ	湯金華	WD, XD
HUANG Yaqiong	ファン・ヤチョン	黄雅瓊	WD, XD
YU Xiaohan	ユ・シャオハン	于小含	WD, XD
OU Dongni	オー・ドンニ	欧冬妮	WD
TANG Yuanting	タン・ユァンティン	唐渊婷	WD
CHEN Qingchen	チェン・チンチェン	陳清晨	WD, XD

DENMARK ◉ デンマーク

Line KJAERSFELDT	リーネ・ヤエスフェルト	WS, XD
Anna Thea MADSEN	アナ・ティア・マドセン	WS
Kamilla RYTTER JUHL	カミラ・リター・ユール	WD
Christinna PEDERSEN	クリスティナ・ペダーセン	WD, XD
Sara THYGESEN	サラ・ティゲセン	WD, XD
Maiken FRUERGAARD	マイケン・フラーガード	WD, XD
Lena GREBAK	レナ・グレバック	XD

ENGLAND ◉ イングランド

Emily WESTWOOD	エミリー・ウェストウッド	WD, XD
Jessica PUGH	ジェシカ・ピュー	WD, XD
Gabrielle ADCOCK	ガブリエル・アドコック	XD

GERMANY ◉ ドイツ

Johanna GOLISZEWSKI	ヨハナ・ゴリスゼウスキー	WD
Lara KAEPPLEIN	ララ・ケップレーン	WD
Isabel HERTTRICH	イザベル・ヘルトリヒ	WD, XD
Linda EFLER	リンダ・エフラー	WD, XD

HONG KONG ◉ ホンコンチャイナ

YIP Pui Yin	イップ・プイイン	葉佩妍	WS
CHEUNG Ngan Yi	チュン・ガンイ	張樫宜	WS
CHAU Hoi Wah	チョウ・ホイワー	周凱華	XD

INDIA ◉ インド

P.V. Sindhu	P.V. シンドゥー	WS
Tanvi LAD	タンビ・ラッド	WS

INDONESIA ◉ インドネシア

Lindaweni FANETRI	リンダウェニ・ファネトリ	WS
Debby SUSANTO	デビー・スサント	XD

KOREA ◉ 韓国

KIM Hyo Min	キム・ヒョミン	金效旻	WS
LEE Jang Mi	イ・ジャンミ	李張美	WS
KIM Na Young	キム・ナヨン	金那暎	WS
LEE Min Ji	イ・ミンジ	李民知	WS
SHIN Seung Chan	シン・ソンチャン	申昇瑨	WD, XD
LEE So Hee	イ・ソヒ	李紹希	WD
YOO Hae Won	ユー・ヘウォン	柳海媛	WD, XD
KIM Hye Rin	キム・ヘリン	金彗麟	WD, XD
KIM Ha Na	キム・ハナ	金荷娜	XD

MALAYSIA ◉ マレーシア

WOON Khe Wei	ウン・ケウェイ	WD
HOO Vivian Kah Mun	フン・ヴィヴィアン・カームン	WD
GOH Liu Ying	ゴー・リューイン	XD

NETHERLAND ◉ オランダ

Selena PIEK	セレナ・ピーク	WD, XD
Eefje MUSKENS	エーフィア・ムスケン	WD

SPAIN ◉ スペイン

Carolina MARIN	キャロリナ・マリン	WS

THAILAND ◉ タイ

Ratchanok INTANON	ラチャノック・インタノン	WS
Porntip BURANAPRASERTSUK	ポルンティップ・ブラナプラサットスク	WS
Busanan ONGBAMRUNGPHAN	ブサナン・オングブンルングパン	WS
Nitchaon JINDAPOL	ニッチャオン・ジンダポル	WS
Puttita SUPAJIRAKUL	プッティタ・スパジラクル	WD
Sapsiree TAERATTANACHAI	サプシリー・タエラッタナチャイ	WD, XD
Rawinda PRAJONGJAI	ラウィンダ・プラジョンジャイ	WD
Jongkolphan KITITHARAKUL	ジョンコルファン・キティタラクル	WD, XD
Savitree AMITAPAI	サヴィトゥリー・アミタパイ	XD

CHINESE TAIPEI ◉ チャイニーズ・タイペイ

TAI Tzu Ying	タイ・ツーイン	戴資穎	WS
PAI Yu Po	パイ・ユーポ	白鈺珀	WS
HSU Ya Ching	シュー・ヤーチン	許雅晴	WS
LEE Chia Hsin	リー・チャーシン	李佳馨	WS
CHEN Su Yu	チェン・スーユ	陳蘇愉	WS
CHEN Shih Ying	チェン・シーイン	陳詩盈	WS
CHIANG Kai Hsin	チャン・カイシン	姜凱心	WD
HUNG Shih Han	フン・シーハン	洪詩涵	WD
CHEN Hsloa Huan	チェン・シャオファン	陳暁歓	XD

USA ◉ アメリカ

ZHANG Beiwen	ツァン・ベイウェン	WS
Maya CHEN	マヤ・チェン	WS

JAPAN ◉ 日本

Nozomi OKUHARA	奥原　希望	日本ユニシス	WS
Akane YAMAGUCHI	山口　茜	再春館製薬所	WS
SayakaSATO	佐藤　冴香	ヨネックス	WS
Yui HASHIMOTO	橋本　由衣	NTT 東日本	WS
Minatsu MITANI	三谷美菜津	NTT東日本	WS
Aya OHORI	大堀　彩	トナミ運輸	WS
Kaori IMABEPPU	今別府香里	ヨネックス	WS
Saena KAWAKAMI	川上紗恵奈	北都銀行	WS
Natsuki NIDAIRA	仁平　菜月	富岡高3年	WS
Asuka TAKAHASHI	高橋明日香	ふたば未来学園高2年	WS
Ayaka TAKAHASHI	高橋　礼華	日本ユニシス	WD
Misaki MATSUTOMO	松友美佐紀	日本ユニシス	WD
Naoko FUKUMAN	福万　尚子	再春館製薬所	WD
Kurumi YONAO	與猶くるみ	再春館製薬所	WD
Shizuka MATSUO	松尾　静香	NTT 東日本	WD, XD
Mami NAITO	内藤　真実	ヨネックス	WD
Koharu YONEMOTO	米元　小春	北都銀行	WD, XD
Shiho TANAKA	田中　志穂	北都銀行	WD
Wakana NAGAHARA	永原和可那	北都銀行	WD, XD
Mayu MATSUMOTO	松本　麻佑	北都銀行	WD
Ayako SAKURAMOTO	櫻本　絢子	ヨネックス	WD
Yukiko TAKAHATA	高畑祐紀子	ヨネックス	WD, XD
Miyuki KATO	加藤　美幸	筑波大3年	WD
Miki KASHIHARA	柏原　みき	筑波大3年	WD
Ayane KURIHARA	栗原　文音	日本ユニシス	XD
Arisa HIGASHINO	東野　有紗	日本ユニシス	XD
Shiori EBIHARA	海老原詩織	作新学院高3年	WS
Nami MATSUYAMA	松山　奈未	九州国際大付高3年	WD, XD
Sayaka HOBARA	保原　彩夏	聖ウルスラ学院英智高3年	WD, XD
Minami KAWASHIMA	川島　美南	埼玉栄高3年	WD
Natsumi UESUGI	上杉　夏美	埼玉栄高3年	WD
Sayaka TAKAHASHI	高橋沙也加	日本ユニシス	WS
Ayumi MINE	峰　歩美	再春館製薬所	WS
Kana ITO	伊東　可奈	再春館製薬所	WS
Chisato HOSHI	星　千智	日本ユニシス	WS
Mako URUSHIZAKI	漆崎　真子	山陰合同銀行	WS
Haruko SUZUKI	鈴木　温子	ヨネックス	WS
Yuki FUKUSHIMA	福島　由紀	再春館製薬所	WD
Sayaka HIROTA	廣田　彩花	再春館製薬所	WD, XD
Saori OZAKI	尾崎　沙織	NTT 東日本	WD
Rira KAWASHIMA	川島　里羅	NTT 東日本	WD
Misato ARATAMA	新玉　美郷	NTT 東日本	WD
Akane WATANABE	渡邊あかね	NTT 東日本	WD
Rie ETOH	江藤　理恵	岐阜トリッキーパンダース	WD, XD
Aoi MATSUDA	松田　蒼	岐阜トリッキーパンダース	WD
Asumi KUGO	久後あすみ	山陰合同銀行	WD
Megumi YOKOYAMA	横山めぐみ	山陰合同銀行	WD
Haruka YONEMOTO	米元　陽花	ACT SAIKYO	XD
Natsumi URATANI	浦谷　夏未	北都銀行	XD
Midori SAKURAI	桜井みどり	広島ガス	XD
Kaede KAMEDA	亀田　楓	広島ガス	XD
Atuko KOIKE	小池　温子	広島ガス	XD



日本バドミントン専門店会

●日本バドミントン専門店会に加盟しているショップは、安心してお買物が出来るしるしです。バドミントンに関することなら、どんなことでもお気軽にお尋ね下さい。バドミントンのエキスパートがいるお店です。当店は日本バドミントン専門店会加盟店です。

●**ラケット保険**
当店独自の保険です。ラケットの全損・折損を保証させて頂きます。これで安心!おもいきりプレーに専念して下さい。

●**新グリーンカード**
ご来店でお買物現金¥500ごと(クレジット使用は¥1,000)にスタンプを押印させて頂くカードです。スタンプ30個以上で商品券として自由に使用できます。最大換金率6.25%!

大会、応援します。

●当店は、各地区のどんな小さな大会でも応援します。なんでもお気軽にご相談下さい。スタッフ一同お待ちしております。

●クラブ単位での訪問販売とレッスン・コーチも行っております。詳しくは各店又はホームページでおたずね下さい。

プレイ仲間が集う場所 **BADMINTON Pro Shop**

RACKET SHOP FUJI

公式FBページ

● 国分寺店	国分寺市南町3-19-1	☎042(322)5626
● フットケアファクトリー店		☎042(312)2572
● 吉祥寺店	武蔵野市吉祥寺本町1-7-8 マーブルビル4F	☎0422(22)8844
● 所沢店	所沢市御幸町6-1	☎04(2928)0288
● 町田店	町田市原町田6-26-11	☎042(723)9555
● 八王子店	八王子市子安町4-27-12	☎042(623)5191
● 川崎店	川崎市幸区中幸町4-50-3	☎044(541)9555
● 静岡店	沼津市庄栄町3-17 2F	☎055(929)9666
● 川越店	川越市脇田町6-9 2F	☎049(223)7444
● 立川店	立川市錦町1-8-2 2F	☎042(527)9554
● 赤羽店	北区赤羽西1-28-5 2F	☎03(3900)9554
● 海老名店	海老名市中央1-15-3 3F	☎046(234)9444
● 橋本店	相模原市緑区橋本3-27-6 2F	☎042(700)9554
● 井土ヶ谷店	横浜市南区井土ヶ谷中町156 2F	☎045(325)9551
● 市が尾店	横浜市青葉区市ヶ尾町1152-21 2F C	☎045(482)9510

2016.9/1 オープン!

● 大和店	大和市中央1-7-36	☎046(204)9009

OFFICERS ◉ヨネックスオープンジャパン2016オフィシャル

大会役員

大会会長 PRESIDENT	綿貫民輔	Tamisuke Watanuki			
大会名誉顧問	小池百合子	Yuriko Koike			
	米山 勉	Ben Yoneyama			
	浅岡 武	Takeshi Asaoka			
大会副会長 VICE PRESIDENTS	籾井勝人	Katsuto Momii			
	関根義雄	Yoshio Sekine			
	福田達夫	Tatsuo Fukuda			
	千葉健夫	Tateo Chiba			
	林田草樹	Kusaki Hayashida			
大会顧問	森 喜朗	関谷勝嗣	森田 一	林 芳正	橋本角市
	権田正一	平田登志郎	青木昭二	毛利清志	福田 武
	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一	牧野 武	村山幸雄
	濱中 誠	岡本武利	本郷節生	三宅祐司	野村嘉明
	里見光徳	佐藤芳朗	竹林克彦	油井秀男	木村 寛
	遠井稔男	岡村英男	川島一郎	板垣隆房	星野忠男
	加藤博司	藤本 滋	藤原和文	加藤寛治	原 紀征
	鈴木勝之	中山紀子	藤原 航	真壁幹雄	野村安忠
	工藤勇参	根岸知子			
大会参与	築地孝彦	三井 裕	木戸純一	阿部秀夫	濱中 勉
	組村 明	福井正康	杉山郁郎	三須得司	荻田 實
	関 敏夫	小林健二	太田耕貴	森谷喜久男	栗田光憲
	菅原幸雄	水上英二	佐藤 隆	池田公子	辻澤康弘
	鏑木興司	保田秀行			
大会委員長 CHAIRMAN	銭谷欽治	Kinji Zeniya			
大会副委員長 VICE CHAIRMANS	笹林義春	Yoshiharu Sasabayashi			
大会委員	山田順一郎	佐竹養一	上松芳則	髙橋秀夫	今井茂満
	小野 理	河崎正紀	坂上 昭	芝スミ子	田部井秀郎
	民谷千寿子	能登則男	村元英美	森田 昇	山薩 栄
	鈴木利雄	今来サキ	兒嶋 昇	殿川宣勝	實吉幹夫
	竹内ヒロ子	笹林義春	山中達雄	横山 登	落合久夫
	福島美記子	石橋太陽	原 正人	中野正一	加藤 孝
	内村 実	中澤悦子	吉田 繁	白鳥 卓	島 朝樹
	藤井弘行	上田敏之	山城譲治	彌永正信	須田和裕
	前川 正	森 麗子	大森一正	中村英之	木戸隆宏
	町田昌敏	金子竜哉	我妻和枝		

世界バドミントン連盟
BADMINTON WORLD FEDERATION

PRESIDENT	Poul-Erik Høyer	
DEPUTY PRESIDENT	Gastavo Fernando Salazar Delgado	
VICE PRESIDENTS	Dagmawit Girmay Berhane	
	Gregory Verpoorten	
	Anton Subowo	
	Geraldine Brown	
	Vishu Tolan	
	Paul Kurzo	
COUNCIL MEMBERS	Ng Yoke Weng	David Cabello
	Peter Tarcala	Lim Teong Kiat
	Etienne Thobois	Nigel Skelt
	Ranjit De Silva	Jassem Kanso
	Li Ling Wei	Chipo Zumburani
	Wayne Somers	Nora Perry
	Yuhan Tan	Lawrence Chew
	Raj Gaya	Akhilesh Das Gupta
	Mehdi Karbasian	Sergey Shakhray

大会運営委員
TOURNAMENT COMMITTIEES

運営委員長 CHAIRMAN	銭谷欽治	Kinji Zeniya
運営副委員長 VICE-CHAIRMAN	林田草樹	Kusaki Hayashida
	山田順一郎	Junichiro Yamada
	髙橋英夫	Hideo Takahashi
	丹藤勇一	Yuichi Tando
	笹林義春	Yoshiharu Sasabayashi
	古澤秀基	Hideki Furusawa
委員 STAFF MEMBERS	上松芳則	Yoshinori Uematsu
	佐竹養一	Yoichi Satake
	本多修治	Shuji Honda
	海老原宏明	Hiroaki Ebihara
	石田一文	Kazufumi Ishida
	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	軍司和久	Kazuhisa Gunji
	橋本健太郎	Kentaro Hashimoto
	日野紗和	Sawa Hino
レフェリー Referee		Jane Wheatley
デピュティレフェリー Deputy Referee		Eric Lissillour
アシスタントレフェリー Assistant Referee	三王知治	Tomoharu Sano
	小島博幸	Hiroyuki Kojima
	遠井 努	Tsutomu Toi
アンパイア & コーディネーター Umpire & Coordinator	木谷雅子	Masako Kiya

実行委員会競技役員

総 括	笹林義春					
副総括	今来サキ					
総務担当	竹内ヒロ子	山中達雄	石橋太陽			
総 務	渡辺敏夫	菅野宏潔	染谷きぬ子	木村昭義	児玉章夫	厚川 勇
	安藤武夫	杉山 保	若月滋人	山口由記子	久保田剛	矢野圭典
	簑 栄三	奥村 優	東海春菜	川杉通昌	向井晴久	露木博保
	善如寺日雄	土田証雄	大塚敏之	木村笑美子	横田和長	目黒克彦
	高橋秀彰	石井芳文	石森敏男	河内準治	西村和宏	田中信行
	佐野玲子	小庭洋子	岡村敦子	塚田敦子	伊藤ちはる	松尾智子
	宮本はるみ	佐藤利子	髙橋静世	田中トミ	髙橋公子	小林清美
	大関萬里子	森本浩子	山田律子	飯野洋子	安藤ひろむ	上田佳代子
	山田博子	深見妙子	小堂順子	清水純子	笠井恭子	小松崎喜美枝
	牧 真由美	馬場陽子	太田美佐子	池尻厚子	佐藤真理	一木晃子
	木原秀子	小林紀子	寺本秋子	塩満陽子	薗部典江	松本竜典
	鈴木真知子	鶴田雅子	菅家佐智子	石井宏和	二村朱美	岡部 陽
	足川 萌	佐藤友里子	相馬真優奈	瀧田拓希	阪口真琴	鳴田菜乃
	阿部菜美子	本多修治	阿由葉純代	西 祐子	白鳥 卓	
練習会場	神千恵美	鈴木和子	金子 緑	矢田美奈子	市田礼子	室伏由利
	松永直人	関本三枝子	石川和美	藤得洋子	向紀代美	笈川美詠子
	浅見裕子					
財務	福島美記子	大平ヒサ				
広報担当	殿川宣勝	山城譲治	彌永正信	須田和裕		
広報	浅見 勇	山本洋彦	三角清一	金丸清昭	近藤 繁	関 和夫
	金沢亮子	有村英泰	岩崎良彦	本田裕士	井本直孝	村主 実
	関口淳也	鮑 智行	李 順姫	髙橋 倩	平野世大	田中さくら
	ステローラスンヨビ					
競技担当	横山 登	加藤 孝	内村 実	白鳥 卓		
競技	近岡 昭	稲村 昇	多田晃一	宮路秀憲	小川裕介	目黒仁一
	小林三男	若林孝子	仲川敏幸	山本義正	加藤浩之	武藤英司
	高野政男	實方義久	桜田豊治	山縣義文	菅沼法英	山内 勉
	江連秀敏	中村憲尚	有村英泰	長門忠雄	横川明弘	髙田 浩
	石田智佳子	遠山由貴江	中村大喜	櫛野興一朗	宮本純一	菊池七海
	小沼勇次	山崎清一	梅野光一			
式典担当	吉田 繁	島 朝樹	藤井弘行			
選手担当	兒嶋 昇	落合久夫	中村憲尚	村田千尋	渡会葉々	大友 繁
	降旗恵美	峯尾貴子	平塚陽子	岩沢億斗	石井裕彬	篠 将広
	司馬 照	土田智広	杉原 年	田村旺子	三土修一朗	苗村匡一朗
	濱野 洋	前村直輝	笠原千晶	小団扇嘉仁	西川 泰	富田悠太郎
放送	伊藤奈穂子	立花直子	髙野聡子			
審判担当	原 正人	上田敏之	中野正一			
国際審判	David Wong	Reza Roshan Omid	Sven Serre	Kelly Hoare	Leung Yuen Wah	Li Quanhui
	Guam Hyung	Bee Yee Ser	Chung Ching Feng	Stephane Venet	Iris Metspalu	野々口栄二
	笠原英知	辻中孝彦	上野 誠	坂本恵美	岩下真志郎	櫻井 学
審判員	沼田昭子	樋地正秀	千葉 毅	前川 正	山本幸恵	田畑美和子
	飯田加世子	深澤訓子	岩崎和美	野村チエ子	髙木 実	岡田時彦
	益頭和雄	茂田公基	柴田理恵	矢野節子	柳沢小夜子	大塚真弓
	川上成彦	藤井 晃	増田智恵	佐藤政行	桐生義宏	桐生里美
	野津山恵美子	家財留美	藤崎靖子	村田 香	大越恭子	飯島ゆき
	伊藤康江	横山朱美	草刈 学	中川敬子	木村明美	松本有実
	服部直美	菅原弘子	須見ひとみ	小野まき子	髙橋恭子	蟷螂野美幸
	坂田真由美	毛塚照美	西井江津子	野村富美子	山田祐子	菊井由美子
	小野寺裕子	宮本明美	澤部智砂	斉藤博美	小坂ゆかり	井上つや子
	竹田小百合	藤田友子	金 由善	大澤恵子	西山智音	渡邊春男
	伊草幸子	伏間誠志	五十畑利枝	米山千鶴子	大島久美子	北川美也子
	山中恵美子	古市貞子	中條博美	関 昭	森原義博	浅倉光隆
	窪田 優	新井博幸	日吉英雄	工藤弘明	工藤史子	李維清
	保科真紀江	塚原美津子	勅使河原博	平岩陽子	依田文博	仲田雅俊
	新里恵美子	菊池とよ子	平田京子	溝口千里	佐藤光明	石切所希美
	秋林江梨子	増田幸子	藤田信子	大谷美穂	木谷雅子	小林和代
	江澤曜子	平山 孝	鳥越俊秀	高足由美子	荻原勝一	後藤裕邑
	新井雄一	平井牧子	安藤 功	岡部啓子	横川明弘	谷堂繁利
	長谷川恵子	山上宏尚	藤井真理	高増道子	福田聡子	寺井直美
	宮田奈美	奈良部年子	田口実里	平野信吉	加瀬 恵	畑中健佑
	播間良記	中村三男	伊藤成子	中林和男	髙橋直也	横田和長
	福士めい子	池田由芽子	滝川洋美	大久保千賀	伊東惣子	山口律子
	前野ゆき子	前野 隆	今野雄吾	佐藤恵美子	佐藤幸正	楯 篤志
	野沢和子	上野晴美	大谷恵美子	山川恭子	中川淳子	佐倉和明
	袖山夏樹	百野郁子	西川 浩	木村藤子	土谷玲子	山本雅巳
	塩沢はるみ	相良あや子	鈴木英昭			
救護	小林總介	髙田 寿	渡辺啓太	土肥美智子	相馬一仁	藤井賢吾
	宮内隆政	世良 泰	岩佐 美	セーボレー悦子	村上顕子	元田ちずる
	長島久美子	平賀玲菜				

YONEX OPEN JAPAN 2016
第35回ヨネックスオープンジャパン

LIST OF WINNERS 1982–2015 ◉ヨネックスオープンジャパン歴代優勝者

1982 ◉ 兵庫県神戸市

MS	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Kartono	カルトノ	インドネシア
	R.Heryanto	ルディ・ヘリヤント	
WD	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド
	Jane WEBSTER	ジェーン・ウェブスター	
XD	Michael TREDGETT	マイケル・トレジェット	イングランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	

1983 ◉ 神奈川県横浜市

MS	HAN Jian	韓　健	中国
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	イングランド
	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	
XD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1984 ◉ 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	ZHENG Yuli	鄭豆雌	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Karen BECKMAN	カレン・ベックマン	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	
XD	Martin DEW	マーチン・デュー	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	

1985 ◉ 東京都・群馬県桐生市

MS	ZHAO Jianhua	趙剣華	中国
WS	WU Jianqiu	呉健秋	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	KIM Yun Ja	金綸子	韓国
	YOO Sang Hee	柳尚希	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	イングランド

1986 ◉ 東京都・群馬県桐生市

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Razif SIDEK	ラジフ・シデク	マレーシア
	Jalani SIDEK	ジャラニ・シデク	
WD	WU Dixi	呉迪西	中国
	LIN Ying	林　瑛	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1987 ◉ 大阪府守口市

MS	XIONG Guobao	熊国宝	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Liem SWIE KING	リム・スイ・キン	インドネシア
	Eddy HARTONO	エディ・ハルトノ	
WD	LIN Ying	林　瑛	中国
	GUAN Weizhen	関渭貞	
XD	LEE Deuck Choon	李得春	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1988 ◉ 東京都・群馬県桐生市

MS	Nick YATES	ニック・イエーツ	イングランド
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	TIAN Bingyi	田秉毅	中国
	LI Yongbo	李永波	
WD	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	韓国
	CHUNG So Young	鄭素英	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1989 ◉ 東京都

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	LEE Son Bok	李相福	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Jillie MUNDY	ジリー・ムンディー	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1990 ◉ 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	YAO Fen	姚　芬	中国
	LAI Caiqin	頼彩勤	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1991 ◉ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1992 ◉ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUSANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	HWANG Hye Young	黄恵英	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Pernille DUPONT	ペミール・デュポン	

1993 ◉ 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1994 ◉ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Deny KANTONO	デニー・カントノ	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Jon HOLST-CHRISTENSEN	ヨン・ホルスト・クリステンセン	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1995 ◉ 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Marlene THOMSEN	マーレーン・トムセン	

1996 ◉ 東京都

MS	Joko SUPRIANTO	ジョコ・スプリアント	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GIL Young Ah	吉永雅	韓国
	JANG Hye Ock	張恵玉	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1997 ◉ 東京都

MS	Peter RASMUSSEN	ピーター・ラスムセン	デンマーク
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

1998 ◉ 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	CHEAH Soon Kit	チー・スーンキット	マレーシア
	YAP Kim Hock	ヤップ・キムホック	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1999 ◉ 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	YE Zhaoying	葉釗穎	中国
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2000 ◉ 東京都

MS	JI Xinpeng	吉新鵬	中国
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	
WD	HUANG Nanyan	黄楠雁	中国
	YANG Wei	楊　維	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2001 ◉ 東京都

MS	Roslin HASHIM	ロスリン・ハシム	マレーシア
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Sigit BUDIARTO	シギット・ブディアルト	
WD	GAO Ling	高　崚	中国
	HUANG Sui	黄　穂	
XD	Bambang SUPRIANTO	バンバン・スプリアント	インドネシア
	Minarti TIMUR	ミナルティ・ティムール	

2002 ◉ 東京都

MS	LEE Hyun Il	李炫一	韓国
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	CHAN Chong Ming	チャン・チョンミン	マレーシア
	CHEW Choon Eng	チュー・チューエン	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA kyung Min	羅景民	

2003 ◉ 東京都

MS	XIA Xuanze	夏煊澤	中国
WS	Camilla MATIN	カミラ・マーチン	デンマーク
MD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンベレ	インドネシア
	Eng HIAN	エン・ヒアン	
WD	GAO Ling	高　崚	中国
	HUANGH Sui	黄　穂	
XD	ZHANG Jun	張　軍	中国
	GAO Ling	高　崚	

2004 ◉ 東京都

MS	Ronald SUSIRO	ロナルド・スシロ	シンガポール
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	オランダ
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	Nova WIDIANTO	ノバ・ウディアント	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2005 ◉ 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Jens ERIKSEN	イエンス・エリクセン	デンマーク
	Martin LUNDGAARD HANSEN	マーチン・ルンドガード・ハンセン	
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラカモル	タイ
	Saralee THUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	

2006 ◉ 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	
WD	GAO Ling	高　崚	中国
	HUANGH Sui	黄　穂	
XD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンベレ	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2007 ◉ 東京都

MS	LEE Chongwei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Tine RASMUSSEN	ティーネ・ラスムセン	デンマーク
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	アメリカ
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	ZHENG Bo	鄭　波	中国
	GAO Ling	高　崚	

2008 ◉ 東京都

MS	Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	インドネシア
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	Lars PAASKE	ラース・パースク	デンマーク
	Jonas RASMUSSEN	ヨナス・ラスムセン	
WD	CHENG Shu	成　淑	中国
	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	
XD	Muhammad RIJAL	ムハンマド・リジャル	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2009 ◉ 東京都

MS	BAO Chunlai	鮑春来	中国
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	Markis KIDO	マルキス・キドー	インドネシア
	Hendra SETIAWAN	ヘンドラ・セティアワン	
WD	MA Jin	馬　晋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	Songphon ANUKRITAYAWON	ソンフォン・アヌグリタヤウォン	タイ
	Kulchala VORAVICHITCHAIKUL	クルチャラ・ウォラウイチチツアイクル	

2010 ◉ 東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	JIANG Yanjiao	蔣燕皎	中国
MD	FU Haifeng	傅海峰	中国
	CAI Yun	蔡　贇	
WD	YU Yang	於　洋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	ZHANG Nan	張　楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	

2011 ◉ 東京都

MS	CHEN Long	譚　龍	中国
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	CAI Yun	傅海峰	中国
	FU Haifeng	蔡　贇	
WD	BAO Yixin	包宜鑫	中国
	ZHONG Qianxin	鐘倩欣	
XD	CHEN Hung Ling	陳宏麟	チャイニーズ・タイペイ
	CHENG Wen Hsing	程文欣	

2012 ◉ 東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	TAI Tzu Ying	戴資穎	チャイニーズ・タイペイ
MD	KIM Gi Jung	金基正	韓国
	KIM Sa Rang	金沙朗	
WD	POON Lok Yan	潘楽恩	ホンコン チャイナ
	TSE Ying Suet	謝影雪	
XD	CHAN Peng Soon	チャン・ペンスン	マレーシア
	GOH Liu Ying	ゴー・リューイン	

2013 ◉ 東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Akane YAMAGUCHI	山口茜	日本
MD	Hendra SETIAWAN	ヘンドラ・セティアワン	インドネシア
	Mohammad AHSAN	モハマド・アッサン	
WD	MA Jin	馬　晋	中国
	TANG Jinhua	湯金華	
XD	ZHANG Nan	張　楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	

2014 ◉ 東京都

MS	LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	LI Xuerui	李雪芮	中国
MD	YOO Yeon Seong	柳延星	韓国
	LEE Yong Dae	李龍大	
WD	Ayaka TAKAHASHI	高橋礼華	日本
	Misaki MATSUTOMO	松友美佐紀	
XD	ZHANG Nan	張　楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	

2015 ◉ 東京都 WINNER 優勝

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	Nozomi OKUHARA	奥原希望	日本
MD	YOO Yeon Seong	柳延星	韓国
	LEE Yong Dae	李龍大	
WD	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	中国
	ZHONG Qianxin	鐘倩欣	
XD	Joachim FISCHER NIELSEN	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン	デンマーク
	Christinna PEDERSEN	クリスティナ・ペダセン	

2015 ◉ 東京都 RUNNER-UP 準優勝

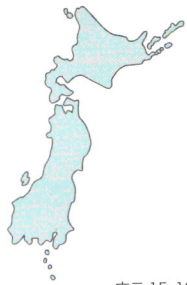
MS	Viktor AXELSEN	ビクター・アクセルセン	デンマーク
WS	Akane Yamaguchi	山口茜	日本
MD	FU Haifeng	傅海峰	中国
	ZHANG Nan	張　楠	
WD	Kamilla RYTTER JUHL	カミラ・リター・ユール	デンマーク
	Christinna PEDERSEN	クリスティナ・ペダセン	
XD	ZHANG Nan	張　楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙雲蕾	

MS＝男子シングルス　WS＝女子シングルス　MD＝男子ダブルス　WD＝女子ダブルス　XD＝混合ダブルス



地域の会社を全力サポート

お客様の課題を解決するため、NTT東日本ではICTを活用した多様なサービスを提供。
東日本営業エリア全29支店の営業担当者が、地域密着でサポートいたします。



広テ 15-1009-03

再春館製薬所は、これからも自然を守る取り組みを続け、スポーツに文化に頑張る人たちを支援するなど、私たちにできることを地道に続けてまいります。



自分たちで使う電気は、100%自分たちの手で

自然の恵みをいただいて、ものづくりをしている会社として、環境に負荷の少ない自然のエネルギーを活用したい。地球温暖化などにより環境保全の動きが高まる中、2001年より工場の屋根にソーラーパネルを掲げ、本社屋、近隣の遊休地、西原村の再春館パークと規模を広げてきた太陽光発電設備「太陽の畑」が完成しました。

13年かけようやく夢が叶い、再春館ヒルトップの年間使用電力の100%をすべて自前でつくり出せるようになりました。



次の世代に熊本の豊かな自然を受けついでいくために

生き物や自然に触れる機会が少なくなっている子どもたちに、命の尊さ、環境を守ることの大切さを学んでほしいと願い、再春館「一本の木財団」では環境教育活動に取り組んでおり、天草の干潟や南阿蘇の草原で観察会を開催しました。おっかなびっくり魚や貝に触ったり、草や花の名前を教えてもらったり、目をきらきらと輝かせて、子どもたちがふるさとの自然とふれあい、楽しみながら体験している姿がとても印象的でした。



熊本の宝、名門バドミントン部を守り抜く

前身のNEC九州から28年にわたって活動を続けてきた「ルネサス バドミントン部」が廃部の危機に。なんとかならないかとのご相談に、ここは熊本の力でなんとかしなければ、日本屈指の名門チームの灯を消してはならない。との想いから引き受けを決めました。

チーム丸ごとの移籍は過去に例がなかったようで、2015年4月からは「くまもと 再春館製薬所 バドミントンチーム」として新たな飛躍に向け活動を開始しました。地元熊本のチームへの応援を、どうぞよろしくお願いいたします。


第二空港線

万日山

熊本の「玄関口」を花いっぱいにしておもてなし

九州新幹線ホームから見える万日山、空港から市内へ向かう第二空港線は、県外の方が最初に目にされる熊本の風景。しかしそこはツタやカズラで荒れ放題の雑木林ばかりでした。このままではいけないと、3年がかりで万日山に522本の桜を植樹。かねてからお願いされていた第二空港線も、社員たちの手で草を刈り、雑木を払って、桜やツツジなどを植えました。再び雑草が生い茂ることのないように、100名を超える社員が空港線沿線の草とりに大汗をかきました。来年の花の時季を、どうぞお楽しみに。

自然の力を、人の力に。

再春館製薬所